

平成26年度第1回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会

資料

1. 議事

第1号議案 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
平成25事業年度の業務実績報告に対する意見聴取について

資料1 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
平成25事業年度に係る業務実績報告書

資料4 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務実績の評価方法

第2号議案 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
平成25年度財務諸表に対する意見聴取について

資料2 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター平成25年度財務諸表

資料5 財務諸表に対する意見聴取の方針

第3号議案 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
第1期中期目標に係る業務実績報告に対する意見聴取について

資料3 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
第1期中期目標に係る業務実績報告書

資料4 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務実績の評価方法

その他

資料6 ・地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
平成26年度年度計画について（報告）

資料7 ・東千葉メディカルセンターの運営状況について（報告）

平成 2 5 事業年度に係る業務実績報告書

平成 2 6 年 5 月

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの概要

1. 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

(2) 本部の所在地

千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

(3) 設 立：平成22年10月1日法人設立

(4) 役員の状況(平成26年3月31日現在)

理事長：平澤 博之

理 事：石原 照子、原田 修、篠崎 純（非常勤）、横須賀 收（非常勤）、大川 昌権（非常勤）

監 事：白土 英成

(5) 職員数(平成26年3月31日現在)

常勤職員：132名 非常勤職員：4名

2. 設置・運営予定病院

(1) 病院の概要

病院名：東千葉メディカルセンター

所在地：千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

開 院：平成26年4月1日開院

病床数：314床（救命救急センター（ICU10床・HCU10床）、一般294床）（開院時146床）

診療科： 23科（開院時 16科）

医 師： 57名（開院時 30名 後期研修医含む。）

看護師：276名（開院時130名）

(2) 基本理念

患者の権利を尊重し、救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として地域住民に信頼される高度で安全な医療を行います。

(3) 基本方針

- 救命救急センターを併設して24時間、365日の救急医療の提供を行います。
- 高度な専門医療の提供を行い、地域住民の生命と健康を守ります。
- 常に安全・安心の医療を行います。
- 患者の権利を尊重し、常に患者第一の医療提供を行います。
- 医療連携を推進し、地域の患者により良い医療を提供します。
- 地域の中核病院として、地域医療機関と密接な連携を図ります。
- 医療従事者の教育・研修に努め、継続的に地域における医療の質の向上を図ります。
- 千葉大学医学部・同附属病院と密接に連携して診療を行います。
- 健全経営に努めるとともに、生き生きとした職場づくりに努めます。
- 地域の保健・医療に貢献するため、地域中核病院としての役割を担います。

3. 東千葉メディカルセンターの位置づけ

山武長生夷隅保健医療圏の主要疾病（がん、心疾患、脳血管疾患）死亡数は、全県と比較して多い状況だが、その一方で治療に当たる医師や看護師をはじめとする医療従事者数は、全県と比較して少ない状況にある。

山武地域の救急搬送状況（山武郡市消防本部管内）をみると、平成18年から平成23年まで、救急患者の40%前後が圏域外の医療機関に搬送される状況が続いている。

また、本医療圏には救命救急センターが整備されていないため、重篤救急患者は、印旛あるいは香取海匝、安房、千葉圏域などの三次救急医療機関に依存しており、三次救急医療体制の確立が急務となっている。

こうした現状を踏まえ、山武長生夷隅保健医療圏における救急医療を中心とした医療提供体制の整備は不可欠であり、東千葉メディカルセンターが提供する医療は救急医療・急性期医療を軸とし、また、地域における救急医療機関相互の連携体制を確保するための中核病院として機能することが求められている。また、救急以外の疾病に対しても中核病院としての役割を担うことが期待されている。

平成25年度における全体的な状況

1. 平成25年度の総括と課題

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターは、平成22年10月1日に設立され、中期目標・中期計画に基づき平成22年度から平成25年度までを第1期の中期目標・中期計画期間として事業を推進し、平成26年4月1日の部分開院を目指した。

平成25年度はこの最終年度として、開院準備を完了させて病院運営を行う第2期に繋げることとなる。

このため医療従事者等の人材の確保、病院運営体制の構築、病院建設工事及び医療機器等の調達を完了し、平成26年度の開院・病院運営を行うための事業を予定どおり実施した。

なお、平成26年度は第2期の中期目標・中期計画のスタートの年であり、段階的な病棟の開棟とともに経営を安定させ、医療従事者等の充実、医療機器等の拡充を図り、中核病院としての機能を定着化するなど、中期目標・中期計画に沿った事業を推進する。

2. 大項目ごとの特記事項

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質に関する目標を達成するためとるべき措置

○救命救急センターを併設し、救急・急性期医療を核とした医療提供が行える地域の中核病院を建設

・東千葉メディカルセンター

施設概要 病院本棟、エネルギー・防災倉庫棟、保育所、医師看護師宿舎、駐車場（746台）
手術室6室（うち1室はハイブリッド手術室）、ほかに救急処置手術室、外来小手術室を整備

竣工引渡 平成26年1月31日

○部分開院時に16科となる診療体制

内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、
脳神経外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科

○放射線関連医療機器の導入

・ X線CT装置320列	1台
・ MRI（1.5T）	1台
・ IVR-CT装置（アンギオCT）	1台
・ バイプレーンX線血管造影装置	1台
・ ハイブリッド手術室対応血管造影装置	1台
・ X線TV装置	1台
・ X線一般撮影装置	2台
・ ポータブルX線撮影装置	2台
・ DR画像処理システム	1式
・ 3D画像処理システム	1式

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

- ネットワークシステム構築及び電子カルテを中心とした情報システムの導入
 - ・ネットワークシステム構築業務
 - ・電子カルテ等情報システム導入業務
- 業務委託の契約締結と開院準備体制の構築
 - ・外注検査業務（検体検査／微生物学的検査・病理学的検査）
 - ・物流管理業務等運營業務
 - ・患者給食及び職員食堂業務
 - ・リネン管理等運營業務
 - ・清掃・警備・施設維持管理業務
 - ・廃棄物収集運搬処分業務（一般／産業）
 - ・医事等業務
 - ・保育所運營業務
 - ・売店等運營業務
 - ・運営体制支援業務

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 健全な経営基盤の確立
 - ・財務会計システム導入
- 支出の適正化
 - ・建設費抑制のための仕様変更を実施し、機能・効率性を考慮して建設工事を進めた。
 - ・給与規程等の整備と退職金の算定方法にポイント制度を導入した。
 - ・第2期中期計画の策定にあたり、35年度まで（10年間）の予算、収支計画、資金計画を作成した。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置、予算・収支計画・資金計画等

- 医師
平成25年度採用実績 29名（平成26年4月採用含む）
部長8名 副部長5名 医長13名 医員3名
- 看護師
平成25年度採用実績 123名（平成26年4月採用含む）
- コメディカル職員（看護師除く）・事務職員
平成25年度採用実績 53名（平成26年4月採用含む）
薬剤師9名 臨床検査技師11名 診療放射線技師10名
管理栄養士2名 臨床工学技士3名 理学療法士3名 作業療法士1名
医療ソーシャルワーカー1名 事務職13名

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 平成25事業年度 年度計画評価表(案)

項目番号			年度計画		実施 状況	地方独立行政法人		評価委員会評価			
大	中	小	内 容	目 標 数値等		自己評価		評 価	評 価	評価の判断理由・評価 に対するコメントなど	
1			住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置								
	1		<p>メディカルセンターの医療機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命救急センターを併設し、救急医療（一次・二次・三次）急性期医療を核とした医療の提供が行える地域の中核病院を建設する。 ・平成26年度の開設時に146床の病床となるための内科、外科、救急科をはじめとする医療体制を整える。 ・千葉大学医学部・同附属病院との密接な連携を構築し、人材の確保及び病院施設の建設を行う。 ・4疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）4事業（救急医療・災害医療・周産期医療・小児医療）に対応した医療機能を確保するための体制を整える。 		<p>実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命救急センターを併設し、救急医療・急性期医療を核とした医療の提供が行える地域の中核病院を建設し平成26年1月31日竣工引渡しを受けた。 ・開院時に16科となる診療体制を整えた。 内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 ・千葉大学医学部・同附属病院との連携のもと、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターのシステムを介して医師（特任教員）を確保するとともに、メディカルセンターの建設と併せて臨床教育センターに必要な設備整備をした。 ・4疾病4事業に対応した医療機能を有する施設整備をした。 ・脳卒中、急性心筋梗塞にも対応できる救急医療体制を整え救命救急センターの指定を受けた。 （平成26年4月1日） ・地域災害拠点病院及びDMAT指定医療機関の指定を受けた。 （平成26年4月1日） 	3					

2	(1)	<p>メディカルセンターの施設整備</p> <p>平成23年度の成果物である「東金九十九里地域医療センター建設工事実施設計図書」に基づき、次の建設工事を完了する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院本棟建設工事（平成25年度予定） ・外構工事（平成25年度予定） ・宿舎棟・保育所建設（平成25年度予定） ・手術室は6室とし、うち1室はハイブリッドオペ室を整備する。また、1階に救急処置手術室を、2階に外来小手術室を整備する。 		実施	<p>建設工事については、平成26年1月24日に完了検査を行い、31日竣工引渡しを受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院本棟、エネルギー・防災倉庫棟、保育所、医師看護師宿舎（45戸）、駐車場（746台） ・手術室6室、うち1室はハイブリッドオペ手術室。このほかに1階に救急処置手術室、2階に外来小手術室を整備した。 	3	
	(2)	<p>関係法令を順守し、許可権者等の指示に従い工事をを行う。</p>		実施	<p>関係法令を順守し、許可権者等の指示に従った工事をを行い、完了検査済証等を取得するに至った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発行為に関する工事の検査済証 発 千葉県知事 検査 平成26年1月10日 交付 平成26年1月20日 ・消防用設備等検査済証 発 山武郡市広域行政組合消防長 検査 平成26年1月16～17日 交付 平成26年1月27日 ・危険物取扱所完成検査済証 発 山武郡市広域行政組合管理者 検査交付 平成26年1月17日 ・建築基準法の規定による完了検査済証 発 日本建築検査協会(株) 検査 平成26年1月21日 交付 平成26年1月22日 	3	
	(3)	<p>安全に工事をを行うとともに近隣に配慮した工事計画とする。</p>		実施	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮した工事計画により無事工期内に終了することが出来た。 ・工事車両の路上駐車禁止や搬入経路の指導を行い近隣に配慮した工事を実施した。 	3	

	(4)	<p>以下の工事監理業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の開設に向けた工程管理と出来高管理 ・設計図書に照らした施工図の作成及び設計図書と工事との照合等による品質管理 		実施	<ul style="list-style-type: none"> ・工程管理、出来高管理を行い、平成26年1月31日に予定どおり建物の竣工引渡しを受けた。 ・工事監理業務は2月28日に終了し、3月10日に完了検査を実施した。 ・工期中は工事請負者、監理者及び発注者による定例会を開催し進捗状況報告、発注内容の確認を実施し品質管理を行った。 	3	
	(5)	<p>許可権者等による検査を実施するとともに病院使用許可を取得し、開院準備が行える施設を整える。</p>		実施	<ul style="list-style-type: none"> ・発行行為に関する工事の検査済証 発 千葉県知事 検査 平成26年1月10日 交付 平成26年1月20日 ・消防用設備等検査済証 発 山武郡市広域行政組合消防長 検査 平成26年1月16-17日 交付 平成26年1月27日 ・危険物取扱所完成検査済証 発 山武郡市広域行政組合管理者 検査交付 平成26年1月17日 ・建築基準法の規定による完了検査済証 発 日本建築検査協会(株) 検査 平成26年1月21日 交付 平成26年1月22日 (再掲) ・病院使用許可 (146床) 発 千葉県知事 検査 平成26年2月17日 交付 平成26年2月27日 	3	

3		<p>メディカルセンターの設備整備</p> <p>(1) 関係法令を順守し、許可権者等の指示に従い工事をを行う。</p>		実施	<p>許可権者等の指示に従った工事をを行い、完了検査証等を取得するに至った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防用設備等検査済証 発 山武郡市広域行政組合消防長 検査 平成26年1月16～17日 交付 平成26年1月27日 ・危険物取扱所完成検査済証 発 山武郡市広域行政組合管理者 検査交付 平成26年1月17日 (再掲) 	3	
		<p>(2) 安全に配慮した工事計画とする。</p>		実施	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮した工事計画により無事工期内に終了することが出来た。 (再掲) 	3	
		<p>(3) 以下の工事監理業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の開設に向けた工程管理と出来高管理 ・設計図書に照らした施工図の作成及び設計図書と工事との照合等による品質管理 		実施	<ul style="list-style-type: none"> ・工程管理、出来高管理を行い、平成26年1月31日に予定どおり建物の竣工引渡しを受けた。 ・工事監理業務は2月28日に終了し、3月10日に完了検査を実施した。 ・工期中は工事請負者、監理者及び発注者による定例会を開催し進捗状況報告、発注内容の確認を実施し品質管理を行った。 (再掲) 	3	
		<p>(4) 許可権者等による検査確認を実施し、開院準備が行える設備を整える。</p>		実施	<ul style="list-style-type: none"> ・消防用設備等検査済証 発 山武郡市広域行政組合消防長 検査 平成26年1月16～17日 交付 平成26年1月27日 ・危険物取扱所完成検査済証 発 山武郡市広域行政組合管理者 検査交付 平成26年1月17日 (再掲) 	3	
		<p>(5) 主要な放射線関連医療機器等の整備計画の見直し、更新を図り、メディカルセンターの医療機能を十分に発揮できる医療機器を導入</p>		実施	<p>メディカルセンターに必要な放射線関連医療機器については費用対効果を考慮し、開院時に必要なものとして以下の機器</p>	3	

		<p>する。また、費用対効果や導入時期についても精査を行う。</p> <p>(主要な放射線関連医療機器：一般撮影装置、X線TV撮影装置、血管撮影装置、コンピュータ断層撮影装置、磁気共鳴断層撮影装置、ポータブル撮影装置、PACS等)</p>		<p>を導入した。</p> <p>X線一般撮影装置 2台 X線TV装置 1台 バイプレーンX線血管造影装置 1台 ハイブリッド手術室対応血管造影装置 1台 IVR-CT装置(アンギオCT) 1台 X線CT装置320列 1台 MRI(1.5T) 1台 ポータブルX線撮影装置 2台 DR画像処理システム 1式 3D画像処理システム 1式</p>		
4		メディカルセンターの人材確保				
	(1)	人材の確保				
		<ul style="list-style-type: none"> ・医師に関しては、千葉大学医学部・同附属病院と共同の臨床教育システム(千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センター)を応用した医師派遣システムを導入するため、千葉大学医学部・同附属病院と共同して、臨床教育センターの設置事務を進める。 ・看護師に関しては、人材確保のための専門体制を整えるとともに、募集活動をより一層強化する。 ・将来に向けた看護師の育成と安定的な確保を図るため奨学金制度を推進する。 ・看護実践の場においてリーダーとなる人材を育成・確保し高水準の看護を提供するため、認定看護師の資格取得のための支援を推進する。 ・千葉大学、千葉県立保健医療大学、城西国際大学等の教育機関と連携し、引き続き、看護師、薬剤師その他の人材の確保の基盤 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・医師に関しては、千葉大学医学部・同附属病院との連携のもと、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターを設置し、臨床教育センターのシステムを介して医師(特任教員)を確保した。 平成25年4月 部長 2名 (特任教授1・特任准教授1) 平成26年1月 部長 1名 副部長 1名 (特任教授1・特任准教授1) (平成26年4月) 部長 5名 副部長 4名 医長 13名 医員 3名 (特任教授5・特任准教授1・特任 	3	

		<p>を整える。</p>		<p>講師3・特任助教12・直接雇用4) 平成25年度採用実績 29名</p> <ul style="list-style-type: none">・看護師に関しては、昨年度に引き続き看護部長を中心に募集体制を整え、看護師養成施設等の訪問及び就職説明会等を実施した。 <p>訪問施設総数 60施設 施設へのパンフレット・求人票の送付 110通</p> <ul style="list-style-type: none">・看護師に関しては、以下のとおり採用し、開院時は130名となった。 <p>平成25年度採用 70名 (平成24年度以前の採用 7名) (平成26年4月1日採用 53名)<ul style="list-style-type: none">・看護師養成機関学生奨学金制度に関しては、以下のとおり給付した。<p>奨学金給付者30名(計画30名) 内訳 平成26年4月採用予定 12名 平成27年4月採用予定 10名 平成28年4月採用予定 8名<ul style="list-style-type: none">・(参考)東金市看護師養成修学資金貸付条例による奨学金制度(上記とは別の城西国際大学看護学部学生を対象とした東金市・九十九里町による奨学金制度)<p>奨学金給付者30名(計画30名) 内訳 平成28年4月採用予定 15名 平成29年4月採用予定 15名<ul style="list-style-type: none">・認定看護師資格取得支援として、平成24年度に応募のあった「救急看護認定看護師」1名及び「糖尿病看護認定看護師」1名に対し、引き続き支援を行った。なお、25年度において新たに2名を公募したが対象者はいなかった。</p></p></p>		
--	--	--------------	--	--	--	--

								・昨年度に引き続き、千葉大学・千葉県立保健医療大学・城西国際大学とは、訪問・説明会・看護師研修の施設利用等を通じて人材確保の連携を図った。		
	(2)	開院に向けた他院における教育研修体制の整備、運用								
		千葉大学医学部・同附属病院及び千葉県病院局と連携し、平成26年度の開設に向けて医師、看護師等が事前に実地での他院における教育研修が出来る制度を整備、運用する。	実施	開院準備のため看護師の教育研修を、千葉大学医学部附属病院、千葉県立病院で実施した。 千葉大学医学部附属病院 10名 千葉県がんセンター 3名 千葉県救急医療センター 2名 千葉県こども病院 1名 千葉県循環器病センター 4名 千葉県立東金病院 3名	3					
5		医師会や地域の医療機関等との連携								
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域完結型の医療提供を行うため、行政機関と連携し、県及び郡医師会、近隣医療機関等と急性期医療や慢性期疾患に対する医療等の医療機能の役割分担を推進する取組を進める。 ・夜間休日急病診療、二次救急輪番について、関係行政機関との協議を図り、将来に向けた救急医療提供体制を構築する取組を進める。 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・メディカルセンター医師が県立東金病院にて診療参加し、医療機能の役割分担を進めるとともに引継ぎを行った。 診療参加 34回 医師3名 引継協議 平成26年3月7日 ・山武長生夷隅医師会医師や消防・行政機関等に対し、メディカルセンターの役割や機能に対する講演や意見交換を行った。 山武郡市医師会主催 平成25年11月12日 茂原市長生郡医師会主催 平成25年7月31日 山武広域行政組合主催 平成25年11月6日 ・地域医療連携室準備担当者である医療ソーシャルワーカーが地域医療機関を訪問し、医療状況の把握と医療連携の取り 	3					

					<p>組みを進めた。</p> <p>訪問施設数 42施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディカルセンターと地域の医療機関等との医療連携を円滑に進めるため、「山武長生夷隅保健医療圏における地域医療連携会議」に出席し、意見交換を行った。 ・「二次救急医療輪番制検討協議会」に参加し、平成26年度からの二次救急輪番の参加を決定した。 		
2		業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置					
	1	効率的で財政上も健全な運営方法の確立					
		<ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザルにより選定したネットワーク業者及び電子カルテを中心とした情報システム業者と、契約に向けての調整等を行い開院時に支障の無いよう整備を行う。 ・開院後の収支を考慮し、各種業務委託等の業者を選定し、年度内に契約を行い開院に備える。 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークシステム構築及び電子カルテを中心とした情報システムを導入し、システム仕様の調整等を行い、開院に対応したシステム整備を完了した。 ネットワークシステム構築業務 ネットワンシステムズ(株) 平成26年2月25日締結 電子カルテ等情報システム導入業務 富士通(株)千葉支社 平成26年2月25日締結 ・各業務委託について契約締結し開院に向けた体制を整えた。 外注検査（検体検査）業務 （株）エスアールエル 平成26年3月24日締結 外注検査（微生物学的検査・病理学的検査）業務 （株）サンリツ 平成26年3月24日締結 物流管理業務等運営業務 アルフレッサメディカルサービス(株) 	3		

		平成22年度に策定した人事評価制度、給与制度、退職金制度、前歴加算制度等の各基本方針を定めた人事制度基本設計に基づき、地方独立行政法人としての有利性を生かした人事・給与制度の仕組みづくりを進める。	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の給与制度を整えるため、給与規程等を整備した。 ・在職中の貢献度を反映しやすくするため、退職金の算定方法にポイント制度を取り入れた。 	3		
3		会計制度の整備と運用					
		地方独立行政法人の財務会計制度を生かし、柔軟な運用が行えるよう会計規程の見直しや、帳簿組織を確立するために更なる精査・検討を行う。	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地方独立行政法人会計基準に適した財務会計システムを導入した。 <p>財務会計システム導入 ぎょうせい(株) 平成25年9月1日締結</p>	3		
3		財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置					
	1	健全な経営基盤の確立					
	(1)	権限と責任の所在を明確にした組織の確立					
		平成25年度までに病院開設後必要となる組織計画を策定するため必要な検討等を行い、これに基づく職員採用計画を策定する。	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度までを計画期間とする第2期中期計画の策定にあたり、職種ごとの採用予定人数を定めた。 	3		
	(2)	経営情報システムの構築					
		<ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザルにより選定したネットワーク業者及び電子カルテを中心とした情報システム業者と、契約に向けての調整等を行い開院時に支障の無いよう整備を行う。(再掲) ・本メディカルセンターに最適な財務会計システムを導入する。 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークシステム構築及び電子カルテを中心とした情報システムを導入し、システム仕様の調整等を行い、開院に対応したシステム整備を完了した。 <p>ネットワークシステム構築業務 ネットワンシステムズ(株) 平成26年2月25日締結</p> <p>電子カルテ等情報システム導入業務 富士通(株)千葉支社 平成26年2月25日締結 (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方独立行政法人会計基準に適した財務会計システムを導入した。 <p>財務会計システム導入 ぎょうせい(株) 平成25年9月1日締結 (再掲)</p>			
2		支出の適正化					

	(1)	建築関連 機能及び効率性のバランスを考慮して作成した実施設計に基づき、建設費抑制の方針を順守した建設工事を実施する。	実施	建設費抑制のための仕様変更を実施し、機能・効率性を考慮して建設工事を進めた。	3								
	(2)	人件費関連 医師、看護師等の給与等については、非公務員による運営であることを踏まえた給与制度の構築を進める。	実施	・医師の給与制度を整えるため、給与規程等を整備した。 ・在職中の貢献度を反映しやすくするため、退職金の算定方法にポイント制度を取り入れた。(再掲)	3								
	(3)	経営シミュレーションの実施 医療制度、診療報酬制度の改定等にあわせ、将来的な財務内容の適正化及び健全化の見直しを立てるため、随時経営シミュレーションの見直しを行う。	実施	平成29年度までを計画期間とする第2期中期計画の策定にあたり、35年度まで(10年間)の予算、収支計画、資金計画を作成した。 今後必要に応じて経営シミュレーションの見直しを行うこととする。	3								
4	その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置												
	1	実施スケジュールの確立 平成25年度の実施スケジュールは次のとおりとする。 <table border="1" data-bbox="338 948 925 1283"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理運営体制</td> <td>事業執行体制の拡充強化</td> </tr> <tr> <td>施設建築関係等</td> <td>建築工事 工事監理 主要医療機器設置 物品調達(開院時に必要なもの) 各種業務委託の業者選定</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成25年度	管理運営体制	事業執行体制の拡充強化	施設建築関係等	建築工事 工事監理 主要医療機器設置 物品調達(開院時に必要なもの) 各種業務委託の業者選定	実施	・開院前年度にあたり、事務部門のほか薬剤、検査、放射線部門等の組織、人員体制を整えた。 ・東千葉メディカルセンター建設工事及び工事監理業務を実施し竣工引渡しを受けた。 ・開院に必要な医療機器の設置と物品調達を行った。 ・開院に必要な業務委託契約を実施した。 ・医師に関しては、千葉大学医学部・同附属病院との連携のもと、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターを設置し、臨床教育センターのシステムを介して医師(特任教員)を確保した。	3		
項目	平成25年度												
管理運営体制	事業執行体制の拡充強化												
施設建築関係等	建築工事 工事監理 主要医療機器設置 物品調達(開院時に必要なもの) 各種業務委託の業者選定												

<p>医師確保</p>	<p>臨床教育センターの設置事務 平成25年4月予定 医師 特任教授 1名 医師 特任准教授 1名 平成26年1月予定 医師 27名</p>		<p>平成25年4月 部長 2名 (特任教授1・特任准教授1) 平成26年1月 部長 1名 副部長 1名 (特任教授1・特任准教授1) (平成26年4月) 部長 5名 副部長 4名 医長 13名 医員 3名 (特任教授5・特任准教授1・特任講師3・特任助教12・直接雇用4) 平成25年度採用実績 29名 (再掲)</p> <p>・看護師に関しては、以下のとおり採用し、開院時は130名となった。 平成25年度採用 70名 (平成24年度以前の採用 7名) (平成26年4月1日採用 53名) (再掲)</p> <p>・看護師に関しては、昨年度に引き続き看護部長を中心に募集体制を整え、看護師養成施設等の訪問及び就職説明会等を実施した。 訪問施設総数 60施設 施設へのパンフレット・求人票の送付 110通 (再掲)</p> <p>・看護師養成機関学生奨学金制度に関しては、以下のとおり給付した。 奨学金給付者30名(計画30名) 内訳 平成26年4月採用予定 12名</p>		
<p>看護師等のコメントの確保</p>	<p>・平成25年度採用予定看護師 52名 ・平成25年度看護師募集数 70名 ・看護師確保のため、パンフレット等を活用したPR活動、看護師養成機関等の訪問や説明会の実施 ・看護師奨学金制度を活用した学生・大学院生への奨学金の支給 ・認定看護師資格取得費用支給要綱に基づく資格取得支援</p>				

- ・平成25年度採用看護師の千葉大学医学部附属病院及び千葉県立病院での看護師研修派遣
- ・開設に向けた看護体制の整備
- ・看護手順、マニュアル等の整備
- ・研修計画の立案と実施
- ・平成25年度予定 コメディカル
 - 薬剤師 8名
 - 臨床検査技師 8名
 - 放射線技師 8名
 - 管理栄養士 1名
 - 臨床工学技士 2名
 - 理学療法士 4名
 - 医療ソーシャルワーカー 2名
- ・平成25年度予定 事務職 16名（電気技師2名含む）

平成27年4月採用予定 10名
平成28年4月採用予定 8名
(再掲)

- ・(参考) 東金市看護師養成奨学資金貸付条例による奨学金制度(上記とは別の城西国際大学看護学部学生を対象とした東金市・九十九里町による奨学金制度)奨学金給付者30名(計画30名)

内訳

平成28年4月採用予定 15名
平成29年4月採用予定 15名
(再掲)

- ・認定看護師資格取得支援として、平成24年度に応募のあった救急看護1名及び糖尿病看護1名に対し、引き続き支援を行った。なお、25年度において新たに2名を公募したが対象者はいなかった。(再掲)
- ・開院準備のため看護師を、千葉大学医学部附属病院、千葉県立病院で教育研修を実施した。

千葉大学医学部附属病院 10名
千葉県がんセンター 3名
千葉県救急医療センター 2名
千葉県こども病院 1名
千葉県循環器病センター 4名
千葉県立東金病院 3名
(再掲)

- ・4月にICU10床、HCU10床、一般病棟1病棟とし、5月及び8月に各1病棟ずつ開棟する看護体制計画を策定した。
- ・看護部を中心に、看護手順、看護マニュアルの整備を進めた。

				<ul style="list-style-type: none"> ・新人看護師の採用時研修計画を策定した。 ・コメディカル職員（看護師除く）及び事務職の募集を行い、以下のとおり確保した。 <ul style="list-style-type: none"> 薬剤師 9名 臨床検査技師 11名 放射線技師 10名 管理栄養士 2名 臨床工学技士 3名 理学療法士 3名 作業療法士 1名 医療ソーシャルワーカー 1名 事務職 13名 <p>（平成26年4月採用含む）</p>												
2	財政負担の原則															
	施設及び設備に関する計画（平成25年度）		実施	東金市及び九十九里町からの負担金、貸付金及び千葉県からの補助金を財源として、施設設備を行った。	3											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予 定 額</th> <th>財 源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事監理委託費 建設工事請負費 医療機器等整備費</td> <td>総額 9,623 百万円</td> <td>東金市及び九十九里町からの負担金、貸付金及び千葉県からの補助金</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	予 定 額	財 源	工事監理委託費 建設工事請負費 医療機器等整備費	総額 9,623 百万円	東金市及び九十九里町からの負担金、貸付金及び千葉県からの補助金			<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>支出額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事監理委託費 建設工事請負費 医療機器等整備費</td> <td>総額 9,618 百万円</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	支出額	工事監理委託費 建設工事請負費 医療機器等整備費	総額 9,618 百万円		
施設及び設備の内容	予 定 額	財 源														
工事監理委託費 建設工事請負費 医療機器等整備費	総額 9,623 百万円	東金市及び九十九里町からの負担金、貸付金及び千葉県からの補助金														
施設及び設備の内容	支出額															
工事監理委託費 建設工事請負費 医療機器等整備費	総額 9,618 百万円															
3	地域に対する広報等		実施	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事進捗状況、看護師の公募等の情報を市町広報等に掲載した。 ・医療センターニュースの発行（1回） ・ホームページをリニューアルし、診療情報の充実を図った。 <p>ホームページ年度末アクセス件数</p> <p>単年度 102,368件</p> <p>累計 198,668件</p>	3											

5		予算(人件費の見積もりを含む)、収支計画及び資金計画		-	省略(財務諸表等による)	-	
6		短期借入金の限度額		-	・平成25年度における短期借入金はない。	-	
7		重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画		-	・平成25年度においては、重要な財産の譲渡等に関する計画はない。	-	
8		剰余金の使途		-	・平成25年度においては、該当する剰余金はない。	-	
9		料金に関する事項		-	・平成25年度においては、該当する料金はない。	-	
10		その他業務運営に関する重要事項(平成25年度)					
	(1)	施設及び設備に関する計画		-	・「第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」で記載したとおり計画どおり実施した。	-	
	(2)	積立金の処分に関する計画		-	・平成25年度においては、積立金の処分に関する計画はない。	-	

財務諸表

平成25年度
(第4期事業年度)

自 平成25年 4月 1日
至 平成26年 3月31日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

目 次

貸借対照表	-----	3
損益計算書	-----	4
キャッシュ・フロー計算書	-----	5
利益の処分に関する書類	-----	6
行政サービス実施コスト計算書	-----	7
注記事項	-----	8
附属明細書	-----	9
(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(「第85 特定の償却資産の減価にかかる会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細	-----	10
(2) たな卸資産の明細	-----	11
(3) 有価証券の明細	-----	11
(4) 長期貸付金の明細	-----	11
(5) 長期借入金の明細	-----	11
(6) 引当金の明細	-----	11
(7) 資産除去債務の明細	-----	11
(8) 保証債務の明細	-----	11
(9) 資本金及び資本剰余金の明細	-----	12
(10) 積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細	-----	12
(11) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細	-----	12
(12) (運営費負担金以外の)地方公共団体等からの財源措置の明細	-----	12
(13) 役員及び職員の給与の明細	-----	12
(14) 開示すべきセグメント情報	-----	13
(15) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	-----	13

貸借対照表
(平成26年3月31日)

【単位:円】

資産の部		負債の部	
I 固定資産		I 固定負債	
1 有形固定資産		資産見返運営費負担金	51,547,105
土地	905,510,550	建設仮勘定見返運営費負担金	61,080,949
建物		建設仮勘定見返補助金等	2,320,441,000
構築物	500,000	長期預り補助金等	
構築物減価償却累計額	△ 40,000	資産見返補助金等	5,813,260
器械備品		長期借入金	10,020,800,000
建設仮勘定	11,581,693,504	退職給付引当金	4,714,290
その他有形固定資産		固定負債合計	12,464,396,604
有形固定資産合計	<u>12,487,664,054</u>		
2 無形固定資産		II 流動負債	
ソフトウェア		短期借入金	
その他無形固定資産		一年以内返済予定長期借入金	
無形固定資産合計	<u>0</u>	医業未払金	34,262,991
3 投資その他の資産		医業外未払金	1,851,727,309
長期前払費用		預り金	6,416,160
長期貸付金	57,054,110	運営費負担金債務	
その他投資資産	200,000	賞与引当金	
投資その他の資産合計	<u>57,254,110</u>	その他流動負債	35,214,791
固定資産合計	12,544,918,164	流動負債合計	1,927,621,251
		負債合計	14,392,017,855
		純資産の部	
		I 資本金	95,235,850
		設立団体出資金(東金市)	70,093,585
		設立団体出資金(九十九里町)	25,142,265
		II 資本剰余金	10,550
		資本剰余金	10,550
		III 利益剰余金	
		積立金	69,718
		当期未処分利益	180,661,254
		(うち当期総利益)	
		利益剰余金合計	<u>180,730,972</u>
		純資産合計	275,977,372
II 流動資産		負債純資産合計	14,667,995,227
現金及び預金	1,967,585,272		
医業未収金			
貸倒引当金			
	<u>1,967,585,272</u>		
未収金	120,477,000		
医薬品	25,494,062		
その他流動資産	9,520,729		
流動資産合計	2,123,077,063		
資産合計	14,667,995,227		

損益計算書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【単位:円】

営業収益			
医業収益			
運営費負担金収益		687,578,488	
補助金等収益		194,223,000	
資産見返運営費負担金戻入		25,000	
その他営業収益			
営業収益合計			881,826,488
営業費用			
医業費用			
一般管理費			
給与費	457,024,769		
減価償却費		25,000	
経費	245,222,643	702,272,412	
営業費用合計			702,272,412
営業利益(△は営業損失)			179,554,076
営業外収益			
運営費負担金収益		59,433,127	
財務収益		132,386	
その他営業外収益		974,792	
営業外収益合計			60,540,305
営業外費用			
財務費用		59,433,127	
その他営業外費用			
営業外費用合計			59,433,127
経常利益(△は経常損失)			180,661,254
臨時損失			
当期純利益(△は当期純損失)			180,661,254
目的積立金取崩額			
当期総利益(△は当期総損失)			180,661,254

キャッシュ・フロー計算書
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【単位:円】

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
材料の購入による支出	
人件費支出	△ 437,346,094
その他の業務支出	△ 103,143,557
医業収入	
運営費負担金収入	775,682,505
補助金等収入	104,402,251
その他	2,403,433
小計	341,998,538
利息の受取額	
利息の支払額	△ 59,433,127
業務活動によるキャッシュ・フロー	282,565,411
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 7,952,802,036
有形固定資産の売却による収入	
投資資産の取得による支出	△ 30,216,850
運営費負担金収入	91,909,120
補助金等収入	2,058,441,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,832,668,766
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	7,477,500,000
長期借入金の返済による支出	
運営費負担金収入	
金銭出資の受入れによる収入	
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,477,500,000
IV 資金増加額(△は資金減少額)	1,927,396,645
V 資金期首残高	40,188,627
VI 資金期末残高	1,967,585,272

利益の処分に関する書類
(平成26年5月30日)

【単位:円】

科目	金額	
I 当期未処分利益		180,661,254
当期総利益	180,661,254	
II 利益処分額		
積立金	180,661,254	180,661,254

行政サービス実施コスト計算書
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

【単位:円】

科目	金額	
I 業務費用		
(1)損益計算書上の費用		
医業費用		
一般管理費	702,272,412	
営業外費用	59,433,127	
臨時損失		761,705,539
(2)(控除)自己収入等		
医業収益		
寄附金収益		
受託収入		
その他営業収益		
その他営業外収益等	△ 1,107,178	△ 1,107,178
業務費用合計		760,598,361
(うち 減価償却充当補助金相当額)		
II 機会費用		
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用		1,729,299
地方公共団体出資の機会費用	610,462	2,339,761
III 行政サービス実施コスト		762,938,122

注記事項

重要な会計方針

1. 運営費負担金収益及び運営費交付金収益の計上基準
期間進行基準を採用しています。
2. 減価償却の会計処理方法
定額法を採用しております。
なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。
構築物 20年
3. 退職給付に係る引当金の計上基準
職員の退職給付に備えるため、期末自己都合要支給額を計上しています。
4. 賞与引当金の計上基準
中期計画の予算において、賞与に係る財源を措置しているため、賞与引当金を計上していません。
5. たな卸資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 医薬品 最終仕入原価法に基づく低価法によっております。
 - (2) 診療材料 同上
 - (3) 貯蔵品 同上
6. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法
 - (1) 国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法
東金市行政財産使用料条例に基づき、使用料を算定しています。
 - (2) 地方公共団体出資の機会費用の計算方法
新発10年国債の平成26年3月末利回りを参考に0.641%で計算しています。
7. 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税込み方式によっています。

附 属 明 细 书

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第85 特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）の明細

【単位：円】

資産の種類	期首 残高	当期 増加額	当期 減少額	期末 残高	減価償却累計額		差引当期末 残高	摘要
						当期償却額		
有形固定 資産 (償却費損 益内)	建物							
	構築物							
	建設仮勘定	1,964,189,850	9,617,503,654		11,581,693,504		11,581,693,504	
	その他							
	計	1,964,189,850	9,617,503,654		11,581,693,504		11,581,693,504	
有形固定 資産 (償却費損 益外)	建物							
	構築物	485,000			485,000	40,000	25,000	460,000
	その他							
	計	485,000			485,000	40,000	25,000	460,000
非償却資産	土地	905,510,550			905,510,550			905,510,550
	その他							
	計	905,510,550			905,510,550			905,510,550
有形固定 資産合計	土地	905,510,550			905,510,550			905,510,550
	建物							
	構築物	485,000			485,000	40,000	25,000	460,000
	建設仮勘定	1,964,189,850	9,617,503,654		11,581,693,504			11,581,693,504
	その他							
	計	2,870,185,400	9,617,503,654		12,487,689,054	40,000	25,000	12,487,664,054
無形固定 資産	ソフトウェア							
	その他							
	計							
投資その 他の資産	長期貸付金	28,517,260	30,216,850	1,680,000	57,054,110			57,054,110
	その他		200,000		200,000			200,000
	計	28,517,260	30,416,850	1,680,000	57,254,110			57,254,110

(2) たな卸資産の明細

【単位:円】

種 類	期 首 残 高	当期増加額		当期減少額		期 末 残 高	摘 要
		当期購入・ 製造・振替	その他	払出・振替	その他		
医薬品		25,494,062				25,494,062	
診療材料		7,690,741				7,690,741	
貯蔵品(医療消耗備品)		1,078,188				1,078,188	
計		34,262,991				34,262,991	

(3) 有価証券の明細

該当事項はありません。

(4) 長期貸付金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			回収額	償却額		
奨学金	27,720,000	25,200,000	1,680,000		51,240,000	
奨学金(認定看護師 資格取得費用)	797,260	5,016,850			5,814,110	
計	28,517,260	30,216,850	1,680,000		57,054,110	

(5) 長期借入金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率	返済期限	摘要
平成22年度東金九十九 里地域医療センター事 業長期借入金	905,500,000			905,500,000	1.9%	平成53年 3月20日	土地購入
平成23年度東金九十九 里地域医療センター事 業長期借入金	138,900,000			138,900,000	1.7%	平成54年 3月20日	実施設計 業務委託
平成24年度東金九十九 里地域医療センター事 業長期借入金	1,498,900,000			1,498,900,000	1.5%	平成55年 3月20日	建設工事 工事監理
平成25年度東金九十九 里地域医療センター事 業長期借入金		2,318,300,000		2,318,300,000	1.6%	平成55年 9月20日	建設工事
平成25年度東金九十九 里地域医療センター事 業長期借入金		3,303,000,000		3,303,000,000	1.4%	平成56年 3月20日	建設工事 工事監理
平成25年度東金九十九 里地域医療センター事 業長期借入金		1,856,200,000		1,856,200,000	0.2%	平成31年 3月20日	設備整備費
計	2,543,300,000	7,477,500,000		10,020,800,000			

(6) 引当金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
退職給付引当金	2,335,857	2,378,433			4,714,290	

(7) 資産除去債務の明細

該当事項はありません。

(8) 保証債務の明細

該当事項はありません。

(9) 資本金及び資本剰余金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金					
東金市	70,093,585			70,093,585	
九十九里町	25,142,265			25,142,265	
計	95,235,850			95,235,850	
資本剰余金					
資本剰余金	10,550			10,550	
運営費負担金	10,550			10,550	
計	10,550			10,550	
損益外減価償却累計額					
差引計	10,550			10,550	

(10) 積立金等の明細及び目的積立金の取り崩しの明細

(10)-1 積立金及び目的積立金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
法第40条第1項積立金	27,969	41,749	0	69,718	

(10)-2 目的積立金の取り崩しの明細

該当事項はありません。

(11) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

(11)-1 運営費負担金債務

【単位:円】

交付年度	期首残高	負担金当期 交付額	当期振替額				小計	期末残高
			運営費負担金収益	資産見返運 営費負担金	建設仮勘定見返 運営費負担金	資本剰余金		
平成22年度		43,733,092	41,749,975			10,550	41,760,525	1,972,567
平成23年度	1,972,567	185,751,104	170,867,894	6,720,000	60,000		177,647,894	10,075,777
平成24年度	10,075,777	224,542,944	201,070,812	21,500,000	94,000		222,664,812	11,953,909
平成25年度	11,953,909	856,168,414	747,011,615	60,183,759	60,926,949		868,122,323	0
計		1,310,195,554	1,160,700,296	88,403,759	61,080,949	10,550	1,310,195,554	

(11)-2 運営費負担金収益

【単位:円】

業務等区分	平成22年度支給分	平成23年度支給分	平成24年度支給分	平成25年度支給分	合計
期間進行基準	41,749,975	170,867,894	201,070,812	747,011,615	1,160,700,296
費用進行基準					
計	41,749,975	170,867,894	201,070,812	747,011,615	1,160,700,296

(12) (運営費負担金以外の) 地方公共団体等からの財源措置の明細

預り補助金等

【単位:円】

交付年度	期首残高	補助金 当期交付額	当期振替額			小計	期末残高
			補助金等収益 (県補助金)	建設仮勘定補 助金等	資産見返補助金 等		
平成24年度		270,402,251	28,604,991	241,000,000	797,260	270,402,251	0
平成25年度	0	2,278,680,000	194,223,000	2,079,441,000	5,016,000	2,278,680,000	0
計	0	2,549,082,251	222,827,991	2,320,441,000	5,813,260	2,549,082,251	

(13) 役員及び職員の給与の明細

【単位:千円・人】

区分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役員	(1,214) 20,533	(4) 1		
職員	(6,019) 362,527	(4) 136		
計	(7,233) 383,060	(8) 137		

(注1) 非常勤の役員については、外数として()で記載しました。

(注2) 役員報酬については、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター役員報酬等規程」に基づき支給しています。

職員給与については、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター職員給与規程」、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター職員給与規程」、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの任期付職員の採用等に関する規程」、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター派遣職員就業規則」及び「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター非常勤職員就業規則」に基づき支給しています。

(注3) 上記明細には、法定福利費を含めていません。

(14) 開示すべきセグメント情報

該当事項はありません。

(15) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

(15)-1 現金及び預金の明細 【単位:円】

区分	期末残高	摘要
普通預金	1,955,248,749	
定期預金	12,336,523	
計	1,967,585,272	

(15)-2 医業未払金の明細 【単位:円】

区分	期末残高	摘要
薬品(貯蔵品)	25,494,062	
医療消耗備品(貯蔵品)	8,768,929	
計	34,262,991	

(15)-3 医業外未払金の明細 【単位:円】

区分	期末残高	摘要
手当及び報酬	11,105,946	
法定福利費	4,727,293	
経費	138,440,088	
工事費	9,240,000	
固定資産購入費	1,664,701,618	
その他	23,512,364	
計	1,851,727,309	

(15)-4 預り金の明細 【単位:円】

区分	期末残高	摘要
所得税預り金	48,842	
共済掛金等預り金	3,265,853	
社会保険料預り金	1,855,283	
雇用保険料預り金	1,246,182	
計	6,416,160	

(15)-5 一般管理費の明細 【単位:円】

科目	金額	
一般管理費		
給与費		
給料及び手当	362,527,326	
役員報酬及び手当	21,746,572	
賞金	6,018,689	
退職給付費用	2,378,433	
法定福利費	64,353,749	457,024,769
減価償却費		
減価償却費	25,000	25,000
経費		
厚生福利費	133,469	
報償費	150,000	
旅費交通費	3,559,831	
職員被服費	43,890	
消耗品費	38,040,970	
消耗備品費	63,797,529	
光熱水費	16,471,137	
会議費	33,043	
印刷製本費	504,484	
修繕費	635,250	
保険料	970,001	
広告料	2,399,655	
賃借料	5,098,456	
通信運搬費	842,256	
委託料	54,600,297	
諸会費	5,000	
手数料	715,067	
租税公課	40,500	
負担金	4,583,932	
支払寄付金	51,098,014	
雑費	349,385	
使用料	1,150,477	
一般管理費合計		245,222,643
		702,272,412

決算報告書

平成25年度
(第4期事業年度)

自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

平成25年度決算報告書

【単位:円】

区分	予算額	決算額	差額 (決算額-予算額)	備考
収入				
営業収益	956,061,000	878,355,233	△ 77,705,767	
医業収益				
運営費負担金収益	682,844,000	684,107,233	1,263,233	
補助金等収益	273,217,000	194,223,000	△ 78,994,000	
資産見返運営費負担金戻入		25,000	25,000	
営業外収益	83,985,000	60,407,919	△ 23,577,081	
運営費負担金収益	83,985,000	59,433,127	△ 24,551,873	
雑益		974,792	974,792	
資本収入	9,648,621,000	9,674,585,054	25,964,054	
資本金収入				
運営費負担金収入	112,482,000	112,628,054	146,054	
補助金収入	2,058,439,000	2,084,457,000	26,018,000	
長期借入金	7,477,700,000	7,477,500,000	△ 200,000	
その他の収入				
計	10,688,667,000	10,613,348,206	△ 75,318,794	
支出				
営業費用	956,061,000	702,272,412	△ 253,788,588	
医業費用				
一般管理費	956,061,000	702,272,412	△ 253,788,588	
給与費	723,000,000	457,024,769	△ 265,975,231	
減価償却費		25,000	25,000	
経費	233,061,000	245,222,643	12,161,643	
雑支出				
営業外費用	83,985,000	59,433,127	△ 24,551,873	
支払利息	83,985,000	59,433,127	△ 24,551,873	
資本支出	9,648,621,000	9,647,720,531	△ 900,469	
建設改良費	9,623,421,000	9,617,503,681	△ 5,917,319	
長期貸付金	25,200,000	30,216,850	5,016,850	
その他の支出		35,214,791		
計	10,688,667,000	10,444,640,861	△ 244,026,139	
単年度資金収支 (収入-支出)	0	168,707,345	168,707,345	

(注1)決算額は、収入については現金預金の収入額に期首期末の未収金額等を加減算したものを、支出については現金預金の支出額に期首期末の未払金額等を加減算したものを記載しています。

(注2)上記の数値は、消費税込みの金額を記載しています。

平成 25 年度 事業報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

目 次

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの概要

1. 現況	17
2. 設置・運営予定病院	17
3. 医療センターの位置づけ	18

平成 25 年度における全体的な状況

1. 平成 25 年度の総括と課題	18
2. 大項目ごとの特記事項	18
第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質に関する目標を達成 するためとるべき措置	18
第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	19
第 3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	19
第 4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置、予算 ・収支計画・資金計画等	19

平成 25 年度における項目別の状況

第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を 達成するためとるべき措置	20
第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	24
第 3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	26
第 4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	26
第 5 予算(人件費の見積もりを含む)、収支計画及び資金計画	28
第 6 短期借入金の限度額	29
第 7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	29
第 8 剰余金の使途	29
第 9 料金に関する事項	29
第 10 その他業務運営に関する重要事項(平成 25 年度)	29

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの概要

1. 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

(2) 本部の所在地

千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

(3) 設 立：平成22年10月1日法人設立

(4) 役員状況(平成26年3月31日現在)

理事長：平澤 博之

理 事：石原 照子、原田 修、篠崎 純（非常勤）、横須賀 収（非常勤）、
大川 昌権（非常勤）

監 事：白土 英成

(5) 職員数(平成26年3月31日現在)

常勤職員：132名 非常勤職員：4名

2. 設置・運営予定病院

(1) 病院の概要

病院名：東千葉メディカルセンター

所在地：千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

開 院：平成26年4月1日開院

病床数：314床（救命救急センター（ICU10床・HCU10床）、一般294床）
（開院時146床）

診療科： 23科（開院時 16科）

医 師： 57名（開院時 30名 後期研修医含む。）

看護師：276名（開院時130名）

(2) 基本理念

患者の権利を尊重し、救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として地域住民に信頼される高度で安全な医療を行います。

(3) 基本方針

- 救命救急センターを併設して24時間、365日の救急医療の提供を行います。
- 高度な専門医療の提供を行い、地域住民の生命と健康を守ります。
- 常に安全・安心の医療を行います。
- 患者の権利を尊重し、常に患者第一の医療提供を行います。
- 医療連携を推進し、地域の患者により良い医療を提供します。
- 地域の中核病院として、地域医療機関と密接な連携を図ります。
- 医療従事者の教育・研修に努め、継続的に地域における医療の質の向上を図ります。
- 千葉大学医学部・同附属病院と密接に連携して診療を行います。

- 健全経営に努めるとともに、生き生きとした職場づくりに努めます。
- 地域の保健・医療に貢献するため、地域中核病院としての役割を担います。

3. 東千葉メディカルセンターの位置づけ

山武長生夷隅保健医療圏の主要疾病（がん、心疾患、脳血管疾患）死亡数は、全県と比較して多い状況だが、その一方で治療に当たる医師や看護師をはじめとする医療従事者数は、全県と比較して少ない状況にある。

山武地域の救急搬送状況（山武郡市消防本部管内）をみると、平成18年から平成23年まで、救急患者の40%前後が圏域外の医療機関に搬送される状況が続いている。

また、本医療圏には救命救急センターが整備されていないため、重篤救急患者は、印旛あるいは香取海匝、安房、千葉圏域などの三次救急医療機関に依存しており、三次救急医療体制の確立が急務となっている。

こうした現状を踏まえ、山武長生夷隅保健医療圏における救急医療を中心とした医療提供体制の整備は不可欠であり、東千葉メディカルセンターが提供する医療は救急医療・急性期医療を軸とし、また、地域における救急医療機関相互の連携体制を確保するための中核病院として機能することが求められている。また、救急以外の疾病に対しても中核病院としての役割を担うことが期待されている。

平成25年度における全体的な状況

1. 平成25年度の総括と課題

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターは、平成22年10月1日に設立され、中期目標・中期計画に基づき平成22年度から平成25年度までを第1期の中期目標・中期計画期間として事業を推進し、平成26年4月1日の部分開院を目指した。

平成25年度はこの最終年度として、開院準備を完了させて病院運営を行う第2期に繋げることとなる。

このため医療従事者等の人材の確保、病院運営体制の構築、病院建設工事及び医療機器等の調達を完了し、平成26年度の開院・病院運営を行うための事業を予定どおり実施した。

なお、平成26年度は第2期の中期目標・中期計画のスタートの年であり、段階的な病棟の開棟とともに経営を安定させ、医療従事者等の充実、医療機器等の拡充を図り、中核病院としての機能を定着化するなど、中期目標・中期計画に沿った事業を推進する。

2. 大項目ごとの特記事項

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質に関する目標を達成するためとるべき措置

○救命救急センターを併設し、救急・急性期医療を核とした医療提供が行える地域の中核病院を建設

・東千葉メディカルセンター

施設概要 病院本棟、エネルギー・防災倉庫棟、保育所、医師看護師宿舎、駐車

場（746台）、手術室6室（うち1室はハイブリッド手術室）、ほかに救急処置手術室、外来小手術室を整備

竣工引渡 平成26年1月31日

○部分開院時に16科となる診療体制

内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科

○放射線関連医療機器の導入

・ X線CT装置320列	1台
・ MRI（1.5T）	1台
・ IVR-CT装置（アンギオCT）	1台
・ バイプレーンX線血管造影装置	1台
・ ハイブリッド手術室対応血管造影装置	1台
・ X線TV装置	1台
・ X線一般撮影装置	2台
・ ポータブルX線撮影装置	2台
・ DR画像処理システム	1式
・ 3D画像処理システム	1式

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

○ネットワークシステム構築及び電子カルテを中心とした情報システムの導入

- ・ ネットワークシステム構築業務
- ・ 電子カルテ等情報システム導入業務

○業務委託の契約締結と開院準備体制の構築

- ・ 外注検査業務（検体検査／微生物学的検査・病理学的検査）
- ・ 物流管理業務等運営業務
- ・ 患者給食及び職員食堂業務
- ・ リネン管理等運営業務
- ・ 清掃・警備・施設維持管理業務
- ・ 廃棄物収集運搬処分業務（一般／産業）
- ・ 医事等業務
- ・ 保育所運営業務
- ・ 売店等運営事業
- ・ 運営体制支援業務

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

○健全な経営基盤の確立

- ・ 財務会計システム導入

○支出の適正化

- ・ 建設費抑制のための仕様変更を実施し、機能・効率性を考慮して建設工事を進めた。
- ・ 給与規程等の整備と退職金の算定方法にポイント制度を導入した。
- ・ 第2期中期計画の策定にあたり、35年度まで（10年間）の予算、収支計画、資金計画を作成した。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置、予算・収支計画・資金計画等

- 医師 平成25年度採用実績 29名（平成26年4月採用含む）
部長8名 副部長5名 医長13名 医員3名

- 看護師 平成25年度採用実績 123名（平成26年4月採用含む）
- コメディカル職員（看護師除く）・事務職員
 - 平成25年度採用実績 53名（平成26年4月採用含む）
 - 薬剤師9名 臨床検査技師11名 診療放射線技師10名
 - 管理栄養士2名 臨床工学技士3名 理学療法士3名
 - 作業療法士1名 医療ソーシャルワーカー1名 事務職13名

平成25年度における項目別の状況

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1. メディカルセンターの医療機能

- ・救命救急センターを併設し、救急医療・急性期医療を核とした医療の提供が行える地域の中核病院を建設し平成26年1月31日竣工引渡しを受けた。
- ・開院時に16科となる診療体制を整えた。
内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科
- ・千葉大学医学部・同附属病院との連携のもと、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターのシステムを介して医師(特任教員)を確保するとともに、メディカルセンターの建設と併せて臨床教育センターに必要な設備整備をした。
- ・4疾病4事業に対応した医療機能を有する施設整備をした。
- ・脳卒中、急性心筋梗塞にも対応できる救急医療体制を整え救命救急センターの指定を受けた。（平成26年4月1日）
- ・地域災害拠点病院及びDMA T指定医療機関の指定を受けた。
（平成26年4月1日）

2. メディカルセンターの施設整備

(1) 建設工事

- ・建設工事については、平成26年1月24日に完了検査を行い、31日竣工引渡しを受けた。
- ・病院本棟、エネルギー・防災倉庫棟、保育所、医師看護師宿舎（45戸）駐車場746台）
- ・手術室6室、うち1室はハイブリッドオペ手術室。このほかに1階に救急処置手術室、2階に外来小手術室を整備した。

(2) 関係法令の順守と許可権者の指示

- ・関係法令を順守し、許可権者等の指示に従った工事を行い、完了検査済証等を取得するに至った。
- ・開発行為に関する工事の検査済証
発 千葉県知事
検査 平成26年1月10日

交付 平成26年1月20日

・消防用設備等検査済証

発 山武郡市広域行政組合消防長

検査 平成26年1月16～17日

交付 平成26年1月27日

・危険物取扱所完成検査済証

発 山武郡市広域行政組合管理者

検査交付 平成26年1月17日

・建築基準法の規定による完了検査済証

発 日本建築検査協会(株)

検査 平成26年1月21日

交付 平成26年1月22日

(3)安全な工事・近隣に配慮した工事

- ・安全に配慮した工事計画により無事工期限内に終了することが出来た。
- ・工事車両の路上駐車禁止や搬入経路の指導を行い近隣に配慮した工事を実施した。

(4)工事監理業務

- ・工程管理、出来高管理を行い、平成26年1月31日に予定どおり建物の竣工引渡しを受けた。
- ・工事監理業務は2月28日に終了し、3月10日に完了検査を実施した。
- ・工期中は工事請負者、監理者及び発注者による定例会を開催し進捗状況報告、発注内容の確認を実施し品質管理を行った。

(5)許可権者による検査・病院使用許可

・開発行為に関する工事の検査済証

発 千葉県知事

検査 平成26年1月10日

交付 平成26年1月20日

・消防用設備等検査済証

発 山武郡市広域行政組合消防長

検査 平成26年1月16～17日

交付 平成26年1月27日

・危険物取扱所完成検査済証

発 山武郡市広域行政組合管理者

検査交付 平成26年1月17日

・建築基準法の規定による完了検査済証

発 日本建築検査協会(株)

検査 平成26年1月21日

交付 平成26年1月22日 (再掲)

・病院使用許可 (146床)

発 千葉県知事

検査 平成26年2月17日

交付 平成26年2月27日

3. メディカルセンターの設備整備

(1) 関係法令の順守と許可権者の指示

許可権者等の指示に従った工事を行い、完了検査証等を取得するに至った。

・消防用設備等検査済証

発 山武郡市広域行政組合消防長

検査 平成26年1月16～17日

交付 平成26年1月27日

・危険物取扱所完成検査済証

発 山武郡市広域行政組合管理者

検査交付 平成26年1月17日（再掲）

(2) 安全に配慮した工事計画

- ・安全に配慮した工事計画により無事工期内に終了することが出来た。（再掲）

(3) 工事監理業務

- ・工程管理、出来高管理を行い、平成26年1月31日に予定どおり建物の竣工引渡しを受けた。
- ・工事監理業務は2月28日に終了し、3月10日に完了検査を実施した。
- ・工期中は工事請負者、監理者及び発注者による定例会を開催し進捗状況報告、発注内容の確認を実施し品質管理を行った。（再掲）

(4) 許可権者による検査

・消防用設備等検査済証

発 山武郡市広域行政組合消防長

検査 平成26年1月16～17日

交付 平成26年1月27日

・危険物取扱所完成検査済証

発 山武郡市広域行政組合管理者

検査交付 平成26年1月17日（再掲）

(5) 放射線関連医療機器

メディカルセンターに必要な放射線関連医療機器については費用対効果を考慮し、開院時に必要なものとして以下の機器を導入した。

X線一般撮影装置	2台
X線TV装置	1台
バイプレーンX線血管造影装置	1台
ハイブリッド手術室対応血管造影装置	1台
IVR-CT装置（アンギオCT）	1台
X線CT装置320列	1台
MRI（1.5T）	1台
ポータブルX線撮影装置	2台

DR画像処理システム	1式
3D画像処理システム	1式

4. メディカルセンターの設備整備

(1) 人材の確保

許可権者等の指示に従った工事を行い、完了検査証等を取得するに至った。

- ・医師に関しては、千葉大学医学部・同附属病院との連携のもと、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターを設置し、臨床教育センターのシステムを介して医師（特任教員）を確保した。

平成25年4月

部長 2名（特任教授1・特任准教授1）

平成26年1月

部長 1名

副部長 1名

（特任教授1・特任准教授1）

（平成26年4月）

部長 5名

副部長 4名

医長 13名

医員 3名

（特任教授5・特任准教授1・特任講師3・特任助教12・直接雇用4）

平成25年度採用実績 29名

- ・看護師に関しては、昨年度に引き続き看護部長を中心に募集体制を整え、看護師養成施設等の訪問及び就職説明会等を実施した。

- ・訪問施設総数 60施設

施設へのパンフレット・求人票の送付 110通

- ・看護師に関しては、以下のとおり採用し、開院時は130名となった。

平成25年度採用 70名

（平成24年度以前の採用 7名）

（平成26年4月1日採用 53名）

- ・看護師養成機関学生奨学金制度に関しては、以下のとおり給付した。

奨学金給付者30名（計画30名）

内訳

平成26年4月採用予定 12名

平成27年4月採用予定 10名

平成28年4月採用予定 8名

- ・（参考）東金市看護師養成修学資金貸付条例による奨学金制度（上記とは別の城西国際大学看護学部学生を対象とした東金市・九十九里町による奨学金制度）

奨学金給付者30名（計画30名）

内訳

平成28年4月採用予定 15名

平成29年4月採用予定 15名

- ・認定看護師資格取得支援として、平成24年度に応募のあった「救急看護認定看護師」1名及び「糖尿病看護認定看護師」1名に対し、引き続き支援を行った。
なお、25年度において新たに2名を公募したが対象者はいなかった。
- ・昨年度に引き続き、千葉大学・千葉県立保健医療大学・城西国際大学とは、訪問・説明会・看護師研修の施設利用等を通じて人材確保の連携を図った。

(2) 開院に向けた他院における教育研修体制の整備、運用

開院準備のため看護師の教育研修を、千葉大学医学部附属病院、千葉県立病院で実施した。

千葉大学医学部附属病院 10名

千葉県がんセンター 3名

千葉県救急医療センター 2名

千葉県こども病院 1名

千葉県循環器病センター 4名

千葉県立東金病院 3名

5. 医師会や地域の医療機関等との連携

- ・メディカルセンター医師が県立東金病院にて診療参加し、医療機能の役割分担を進めるとともに引継ぎを行った。

診療参加 34回 医師3名

引継協議 平成26年3月7日

- ・山武長生夷隅医師会医師や消防・行政機関等に対し、メディカルセンターの役割や機能に対する講演や意見交換を行った。

山武郡市医師会主催 平成25年11月12日

茂原市長生郡医師会主催 平成25年7月31日

山武広域行政組合主催 平成25年11月6日

- ・地域医療連携室準備担当者である医療ソーシャルワーカーが地域医療機関を訪問し、医療状況の把握と医療連携の取り組みを進めた。

訪問施設数 42施設

- ・メディカルセンターと地域の医療機関等との医療連携を円滑に進めるため、「山武長生夷隅保健医療圏における地域医療連携会議」に出席し、意見交換を行った。
- ・「二次救急医療輪番制検討協議会」に参加し、平成26年度からの二次救急輪番の参加を決定した。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1. 効率的で財政上も健全な運営方法の確立

ネットワークシステム構築及び電子カルテを中心とした情報システムを導入し、システム仕様の調整等を行い、開院に対応したシステム整備を完了した。

- ・ネットワークシステム構築業務

ネットワンシステムズ(株) 平成26年2月25日締結

- ・電子カルテ等情報システム導入業務

富士通(株)千葉支社 平成26年2月25日締結

各業務委託について契約締結し開院に向けた体制を整えた。

- ・外注検査（検体検査）業務

(株)エスアールエル 平成26年3月24日締結

- ・外注検査（微生物学的検査・病理学的検査）業務

(株)サンリツ 平成26年3月24日締結

- ・物流管理業務等運營業務

アルフレッサメディカルサービス(株) 平成26年1月31日締結

- ・患者給食及び職員食堂業務

(株) ティエフケー 平成26年1月31日締結

- ・リネン管理等運營業務

ワタキューセイモア(株) 平成26年1月31日締結

- ・清掃・警備・施設維持管理業務

(株)ダイケングループ 平成26年1月31日締結

- ・一般廃棄物収集運搬・処分業務

(株)中村総業 平成25年11月25日締結

- ・産業廃棄物収集運搬・処分業務

三友プラントサービス(株) 平成26年1月31日締結

- ・医事等業務

(株)ソラスト 平成25年10月22日締結

- ・保育所運營業務

(株)サクセスアカデミー 平成26年1月30日締結

- ・売店等運営事業

(株)光洋 平成26年1月30日締結

昨年度に引き続き各業務委託等の仕様の策定調整をおこない開院体制を整えた。

- ・運営体制支援業務

(株)システム環境研究所 平成25年4月1日締結

2. 魅力ある人事・給与制度の確立

- ・医師の給与制度を整えるため、給与規程等を整備した。

- ・在職中の貢献度を反映しやすくするため、退職金の算定方法にポイント制度を取り入れた。

3. 会計制度の整備と運用

- ・地方独立行政法人会計基準に適した財務会計システムを導入した。

財務会計システム導入

ぎょうせい(株) 平成25年9月1日締結

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

1. 健全な経営基盤の確立

(1) 権限と責任の所在を明確にした組織の確立

平成29年度までを計画期間とする第2期中期計画の策定にあたり、職種ごとの採用予定人数を定めた。

(2) 経営情報システムの構築

ネットワークシステム構築及び電子カルテを中心とした情報システムを導入し、システム仕様の調整等を行い、開院に対応したシステム整備を完了した。

- ・ネットワークシステム構築業務

ネットワンシステムズ(株) 平成26年2月25日締結

- ・電子カルテ等情報システム導入業務

富士通(株)千葉支社 平成26年2月25日締結 (再掲)

- ・地方独立行政法人会計基準に適した財務会計システムを導入した。

財務会計システム導入

ぎょうせい(株) 平成25年9月1日締結 (再掲)

2. 支出の適正化

(1) 建築関連

建設費抑制のための仕様変更を実施し、機能・効率性を考慮して建設工事を進めた。

(2) 人件費関連

- ・医師の給与制度を整えるため、給与規程等を整備した。

- ・在職中の貢献度を反映しやすくするため、退職金の算定方法にポイント制度を取り入れた。(再掲)

(3) 経営シミュレーションの実施

平成29年度までを計画期間とする第2期中期計画の策定にあたり、35年度まで(10年間)の予算、収支計画、資金計画を作成した。

今後も必要に応じて経営シミュレーションの見直しを行うこととする。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

1. 実施スケジュールの確立

- ・開院前年度にあたり、事務部門のほか薬剤、検査、放射線部門等の組織、人員体制を整えた。

- ・東千葉メディカルセンター建設工事及び工事監理業務を実施し竣工引渡しを受けた。

- ・開院に必要な医療機器の設置と物品調達を行った。

- ・開院に必要な業務委託契約を実施した。

- ・医師に関しては、千葉大学医学部・同附属病院との連携のもと、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターを設置し、臨床教育センターのシステムを介して医師(特任教員)を確保した。

平成25年4月

部長 2名

[特任教授 1・特任准教授 1]

平成 26 年 1 月
部長 1 名
副部長 1 名

[特任教授 1・特任准教授 1]

(平成 26 年 4 月)
部長 5 名
副部長 4 名
医長 13 名
医員 3 名

[特任教授 5・特任准教授 1・特任講師 3・特任助教 12
・直接雇用 4]

- 平成 25 年度採用実績 29 名 (再掲)
- ・看護師に関しては、以下のとおり採用し、開院時は 130 名となった。
平成 25 年度採用 70 名
(平成 24 年度以前の採用 7 名)
(平成 26 年 4 月 1 日採用 53 名) (再掲)
 - ・看護師に関しては、昨年度に引き続き看護部長を中心に募集体制を整え、看護師養成施設等の訪問及び就職説明会等を実施した。
訪問施設総数 60 施設
施設へのパンフレット・求人票の送付 110 通 (再掲)
 - ・看護師養成機関学生奨学金制度に関しては、以下のとおり給付した。
奨学金給付者 30 名 (計画 30 名)
内訳
平成 26 年 4 月採用予定 12 名
平成 27 年 4 月採用予定 10 名
平成 28 年 4 月採用予定 8 名 (再掲)
 - ・(参考) 東金市看護師養成奨学資金貸付条例による奨学金制度 (上記とは別の城西国際大学看護学部学生を対象とした東金市・九十九里町による奨学金制度)
奨学金給付者 30 名 (計画 30 名)
内訳
平成 28 年 4 月採用予定 15 名
平成 29 年 4 月採用予定 15 名 (再掲)
 - ・認定看護師資格取得支援として、平成 24 年度に応募のあった救急看護 1 名及び糖尿病看護 1 名に対し、引き続き支援を行った。なお、25 年度において新たに 2 名を公募したが対象者はいなかった。(再掲)
 - ・開院準備のため看護師を、千葉大学医学部附属病院、千葉県立病院で教育研修を実施した。
千葉大学医学部附属病院 10 名

千葉県がんセンター	3名
千葉県救急医療センター	2名
千葉県こども病院	1名
千葉県循環器病センター	4名
千葉県立東金病院	3名（再掲）

- ・4月にICU10床、HCU10床、一般病棟1病棟とし、5月及び8月に各1病棟ずつ開棟する看護体制計画を策定した。
- ・看護部を中心に、看護手順、看護マニュアルの整備を進めた。
- ・新人看護師の採用時研修計画を策定した。
- ・コメディカル職員（看護師除く）及び事務職の募集を行い、以下のとおり確保した。

薬剤師	8名
臨床検査技師	11名
放射線技師	10名
管理栄養士	2名
臨床工学技士	3名
理学療法士	3名
作業療法士	1名
医療ソーシャルワーカー	1名
事務職	14名

（平成26年4月採用含む）

2. 財政負担の原則

東金市及び九十九里町からの負担金、貸付金及び千葉県からの補助金を財源として、施設設備を行った。

施設及び設備の内容	支出額
工事監理委託費	総額
建設工事請負費	9,618
医療機器等整備費	百万円

3. 地域に対する広報等

- ・建設工事進捗状況、看護師の公募等の情報を市町広報等に掲載した。
- ・医療センターニュースの発行（1回）
- ・ホームページをリニューアルし、診療情報の充実を図った。

ホームページ年度末アクセス件数

単年度 102,368件

累計 198,668件・医療センターニュースの発行（3回）

第5 予算(人件費の見積もりを含む)、収支計画及び資金計画

省略(財務諸表等による)

第6 短期借入金の限度額

平成25年度における短期借入金はない。

第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

平成25年度においては、重要な財産の譲渡等に関する計画はない。

第8 剰余金の使途

平成25年度においては、該当する剰余金はない。

第9 料金に関する事項

平成25年度においては、該当する料金はない。

第10 その他業務運営に関する重要事項(平成25年度)

(1) 施設及び設備に関する計画

「第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」で記載したとおり計画どおり実施した。

(2) 積立金の処分に関する計画

平成25年度においては、積立金の処分に関する計画はない。

写

監査報告書

平成 26 年 5 月 29 日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
理事長 平 澤 博 之 様

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

監 事 白 土 英 成 

私は、地方独立行政法人法第 13 条第 4 項の規定により、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの第 4 期事業年度における業務の執行を監査いたしました。その結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の概要

私は、平成 25 年度監査計画に基づき、理事会に出席するほか、役員(監事を除く。以下同じ。)等から事業の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧し、事務局等において業務及び財産の状況を調査しました。また、財務諸表、事業報告書及び決算報告書について、検討を加えました。

2. 監査の結果

- (1) 財務諸表(利益の処分に関する書類を除く。)は、当法人の財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況を適正に示していると認めます。
- (2) 利益の処分に関する書類は、法令に適合していると認めます。
- (3) 決算報告書は、当法人の予算区分に従って決算の状況を正しく示していると認めます。
- (4) 事業報告書は、当法人の業務運営の状況を正しく示していると認めます。
- (5) 役員の職務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは規程に違反する重大な事実は認められません。

以上

第 1 期中期目標に係る業務実績報告書

平成 2 6 年 5 月

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 第1期中期目標に係る業務実績報告書

中期目標（平成22～25年度）	中期計画（平成22～25年度）	実績	記 評 価	評 価	評価委員会評価 （評価の判断理由・コメント）
第1 中期目標の期間	第1 中期計画の期間				
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター設立の日（平成22年10月1日）から平成26年3月31日までとする。	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター設立の日（平成22年10月1日）から平成26年3月31日までとする。	平成22年10月1日から平成26年3月31日までの3年6ヵ月間を第1期中期計画期間とした。	3		
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置				
1 メディカルセンターの医療機能	1 メディカルセンターの医療機能				
<ul style="list-style-type: none"> 救急医療（一次・二次・三次）・急性期医療を核とした医療の提供 救命救急センターの併設 診療科22科・病床数314床（平成28年度） 千葉大学医学部・同附属病院との密接な連携の構築 <ul style="list-style-type: none"> 4疾病4事業等政策医療への対応 上記についての医療機能を確保すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターを併設し、救急医療（一次・二次・三次）・急性期医療を核とした医療の提供が行える地域の中核病院とするため、平成28年度において診療科22科・病床数314床の医療機能を想定し、平成26年度の開設時に146床の病床となるための内科、外科、救急科を中心に医療体制をととのえる。 千葉大学医学部・同附属病院との密接な連携を構築し、人材の確保及び病院施設の建設を行う。 4疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）4事業（救急医療・災害医療・周産期医療・小児医療）に対応した医療機能を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターを併設し、救急医療（一次・二次・三次）・急性期医療を核とした医療の提供が行える地域の中核病院として平成26年4月1日に開院した。 診療科16科 内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 病床数146床 千葉大学医学部・同附属病院との密接な連携を構築し、診療部門ごとのヒアリングを実施してメディカルセンターの設計と建設を行うとともに、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターのシステムを介して医師（特任教員）を確保する体制を構築した。 4疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）4事業（救急医療・災害医療・周産期医療・小児医療）にも対応した医療機能を有する設備整備をした。 脳卒中、急性心筋梗塞に対応できる救急医療体制を整え救命救急センターの指定を受けた。 （指定日 平成26年4月1日） 地域災害拠点病院及びDMA T指定医療機関の指定を受けた。 （指定日 平成26年4月1日） 	3		
2 メディカルセンターの施設整備	2 メディカルセンターの施設整備				
<ul style="list-style-type: none"> 千葉県東金市丘山台三丁目6番1、6番2、7番1の一部、7番2を用地として取得し、メディカルセンターの医療機能を発揮するために必要な設計及び建築を行うこと。 病院本棟のほか、医師看護師宿舎、保育所、ドクターヘリ・ヘリポートを医療センターの機能が発揮できるよう整備すること。 災害時も含め継続した医療機能の確保ができる施設とすること。 臨床研修及び学生教育を十分に行うための施設とすること。 将来の環境変化に柔軟に対応できる施設とすること。 ユニバーサルデザインの導入を図ること。 医療機能を確保しつつ、業務の効率化を図れる施設とすること。 環境負荷の低減に配慮した施設とすること。 上下水道その他既存のインフラを活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)千葉県東金市丘山台三丁目6番1、6番2、7番1の一部、7番2を用地として取得する。 (2)病院本棟及び医師・看護師宿舎、保育所、ドクターヘリ・ヘリポート等の整備を行う。 (3)病院の外来部門を中心にユニバーサルデザインを採用する。 (4)病院本棟の設計及び施設整備は次により行う。 <ul style="list-style-type: none"> 技術革新による医療機能の変化及び社会状況の変化による病院機能の将来的な拡充やプラン変更に対応できる施設計画の作成とこれに基づく整備 免震構造等の採用の検討及び構造体の耐震安全性の分類をI類（官庁施設の総合耐震計画基準）を採用 医療用の防災備蓄倉庫を併設 救命救急センターはICU10床、HCU10床、一般病床は294床 手術室は7室 入院病棟は1フロアあたり2看護単位とし、1看護単位あたり42床程度 講堂、会議室を設置 	<ul style="list-style-type: none"> (1)千葉県東金市丘山台三丁目6番1、6番2、7番2、7番3（7番1の一部）を取得した。 取得日 平成23年3月29日 (2)病院本棟及び医師看護師宿舎、保育所、ドクターヘリ・ヘリポート等の建設工事を実施した。 竣工引渡 平成26年1月31日 (3)障害者団体と意見交換会を実施し、ユニバーサルデザインを導入した設備設計とした。 相手方 東金市障害者福祉団体連絡協議会 意見交換会 平成23年8月11日 平成24年9月26日 平成25年12月25日 ほか (4)病院本棟及び防災エネルギー棟 <ul style="list-style-type: none"> 将来の医療環境や技術の進展に伴う各種変化を考慮して作成した実施設計に基づき整備 病院本棟 免震構造採用 防災倉庫を併設 病床数 314床 一般病床294床 救命救急センターICU10床・HCU10床 	3		

<ul style="list-style-type: none"> ・三次救急医療機関として救急医療が迅速かつ円滑に行える施設配置とすること。 ・病院の立地を考慮した駐車場の確保や、公共交通へ対応したロータリー等の整備を行うこと。 ・ドクターヘリ・ヘリポートは、離着陸に伴う安全空域の確保と地域環境に配慮した配置とすること。 ・病院本棟は、災害応急対策活動に対応できるよう耐震安全性を確保すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修医・医学部学生等及び看護学生等のためのスペースを入院病棟1フロアあたりそれぞれ1室程度設置 ・救命救急センターは低層階に配置 ・救命救急センターとドクターヘリ・ヘリポート間の専用動線の確保 ・救命救急センターと手術部門との直接動線の確保 ・外来者動線、救急動線、サービス動線の分離 ・救命救急センターと放射線部門を隣接 ・外来部門はブロック受付 <p>(5) 医師・看護師宿舎の設計及び施設整備は次により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収容戸数 45 戸 ・ワンルーム方式を基本 ・各個室は、医師宿舎、看護師宿舎のいずれにも利用可能な構造 ・建物は病院本棟配置を踏まえ敷地内に配置 <p>(6) 院内保育所の設計及び施設整備は次により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師、看護師等病院勤務者の乳幼児から就学前児の保育を対象 ・収容児数 20 人に対応 ・通常保育のほか、体調不良児も安心して任せられる施設 ・建物は病院本棟配置を踏まえ敷地内に配置 <p>(7) ドクターヘリ・ヘリポートの設計及び施設整備は次により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空法に適合する進入及び着陸空域の設定 ・病院本棟(救命救急センター)との専用動線が確保できる敷地内に配置 ・可能な限り地域住民の住環境への影響の少ない敷地配置 ・フェンス、防護柵等による人員及び機体の安全の確保 <p>(8) 土地利用その他は次により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造成にあたっては現状の敷地形状を有効に活用 ・上下水道、エネルギー等に関する既存インフラを活用 ・駐車場約 740 台分を確保 ・バス、タクシー等の公共交通機関の乗り入れに対応したロータリー、タクシープール等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術室 6 室 (うち 1 室はハイブリッド手術室) ほか 1 階に救急処置手術室、2 階外来に小手術室を整備 ・入院病棟 3 階 1 看護単位 42 床 4~6 階 2 看護単位 84 床 ・講堂 200 人収容、ほか会議室を設置 ・研修室 入院病棟 1 フロアあたり 2 室設置 (1 看護単位 1 室程度) ・救命救急センターと中央診療部門 (手術部門、放射線部門等) を 1 階に近接して配置し、救急診療に際しエレベーターによる上下方向の患者移動が不要となる動線を確保 ・前面道路からの動線は外来者動線、救急動線、サービス動線を分離して整備 ・外来部門にブロック受付を導入 <p>(5) 医師看護師宿舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンルーム方式 45 戸をすべて同様の設備として、敷地内北西側に整備 2 階建 18 戸 3 階建 27 戸 <p>(6) 保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収容児数 20 人対応保育所を敷地内北西側に整備 ・体調不良児室を設置した。 ・設計・建設にあたっては他施設の保育士より意見を取り入れて整備 <p>(7) ドクターヘリ・ヘリポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内南西側に地上型を整備し、病院本棟との専用動線を確保 ・地域住民に影響の少ない進入路設定と航空法に適合した整備を行いドクターヘリ運航者が飛行場外離着陸場の許可を取得 ・人員及び機体の安全を確保した外構整備 <p>(8) 土地利用その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造成にあたっては敷地のレベル差を有効に活用し、地階レベルを職員・サービスゾーン、1 階レベルを患者・利用者ゾーンとして明快に分離して駐車場等の整備 ・駐車場 746 台 ・上下水道、都市ガス、電力、情報回線等既存インフラを活用 ・ロータリー、タクシープールの設計整備にあたっては、バス事業者及びタクシー事業者と意見交換し、乗り入れに対応した整備 平成 23 年 5 月 18 日 東金タクシー組合意見交換会 平成 23 年 5 月 23 日 バス事業者意見交換会 平成 25 年 9 月 18 日 バス事業者意見交換会 平成 25 年 10 月 21 日 東金タクシー組合意見交換会 ほか <ul style="list-style-type: none"> ・バス停 2 基、バス待機所、福祉車両優先車寄せ設置 			
<p>3 メディカルセンターの設備整備</p>	<p>3 メディカルセンターの設備整備</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・高度な専門医療の提供と安全・安心の医療を継続的に行うため、信頼性・安全性が確保された設備とすること。 ・臨床研修及び学生教育を十分に行うための設備とすること。 ・災害発生時にも、医療の重要度に応じて病院の機能を維持できる設備とすること。 	<p>(1) 病院本棟の設備整備は次により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸室の機能、役割等に対応した空気の清浄度の確保 ・確実なバックアップ方式によるエネルギー供給 ・快適な空気・温熱環境の安定的な供給 ・研修医及び看護学生等のための什器、情報端末等の整備 	<p>(1) 病院本棟の設備整備は中期計画に基づき実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸室の機能、役割に対応して空気清浄度を確保した。 手術部門 手術室の役割に応じてクラス 100~クラス 10 万の清浄度を確保 ICU 感染症に対応した陰陽圧切替可能な個室設置 結核モデル病床 陰圧かつ独立した換気設備をもつ個室を病棟に整備 	3		

<ul style="list-style-type: none"> ・医療環境及び衛生環境を適正に維持し、併せて快適性にも留意しつつ省エネルギーへの対応をしたものとする。 ・磁気共鳴診断装置やコンピュータ断層撮影装置等の医療機器整備については、必要とされる医療機能に対応しつつ、建築への影響や経営に対する費用対効果を踏まえて整備すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害その他緊急時用の臨時ベッド運用に併せた医療ガス設備等の整備 ・災害に対応した水、燃料等のライフライン資源の確保及び非常用電源の確保 ・省エネルギーやライフサイクルコスト比較も踏まえた設備機器の選定 <p>(2) 主要な放射線関連医療機器として、一般撮影装置 X線 TV 撮影装置、乳房撮影装置、血管撮影装置、コンピュータ断層撮影装置、磁気共鳴断層撮影装置、ポータブル撮影装置、ガンマカメラ、CR システム、PACS を整備する。</p> <p>(3) 医師看護師宿舎の設備整備は次により行う。 各個室は、医師宿舎、看護師宿舎の兼用性を備える設備</p> <p>(4) 院内保育所の設備整備は次により行う。 通常保育のほか、体調不良児も安心して任せられる設備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電力引き込みについては停電を想定し 2 回線受電 常用電源 滝台変電所 予備電源 大網変電所 ・非常用発電機の設置及び重油の備蓄 ・無停電電源設備 (UPS) の設置 ・都市ガス方式の空調機器 1 台を重油切替型として設置 ・臨床療育センターや病棟研修室に什器や情報環境を整備 ・災害その他緊急時用の臨時ベッド運用を想定し、講堂、会議室、センタープラザ等に酸素と吸引アウトレットを整備 ・地域災害拠点病院として必要なライフライン資源を備蓄 ・イニシャルコスト、ランニングコストを検討し空調ポンプ、外気調和機等について省エネルギー設備を導入 <p>(2) 放射線関連医療機器は開設時に以下の機器を導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ X線一般撮影装置 2 台 ・ X線 TV 装置 1 台 ・ バイプレーン X線血管造影装置 1 台 ・ ハイブリッド手術室対応血管造影装置 1 台 ・ I V R - C T 装置 (アンギオ C T) 1 台 ・ X線 C T 装置 320 列 1 台 ・ M R I (1.5 T) 1 台 ・ ポータブル X線撮影装置 2 台 ・ ハイブリッド手術室対応血管造影装置 1 台 ・ D R 画像処理システム 1 式 ・ 3 D 画像処理システム 1 式 <p>(3) 医師看護師宿舎はワンルーム方式とし、45 戸すべて同様の設備</p> <p>(4) 保育所に体調不良児室を設置</p>																																																	
<p>4 メディカルセンターの人材確保</p>	<p>4 メディカルセンターの人材確保</p>																																																		
<p>(1) 人材の確保</p> <p>救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として十分機能し、かつ 4 疾病 4 事業への対応も十分行うために、医師、看護師、医療技術員、事務職等のあらゆる職種及び階層において、当メディカルセンターの理念を実現するために医療機能に応じた必要な人材を確保すること。</p> <p>また、そのための有効な手段として、千葉大学医学部・同附属病院と共同の臨床教育システム (千葉大学医学部附属病院九十九里地域臨床教育センター (仮称)) を応用した医師派遣システム等の具体化に向けた取り組みを行うこと。さらに看護師確保については、一般病棟入院基本料の 7 対 1 入院基本料の算定に対応できるよう早期に募集体制や確保のための諸制度を整えること。</p> <p>これら人材の確保については、開院初年度 予定病床数 146 床に対応するものであること。</p> <p>また、将来に向けた看護師の育成と安定的な確保を図るため、東金市及び九十九里町と協議のうえ、地域教育機関等との連携を図ること。</p>	<p>(1) 人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度の開設想定病床数を 146 とし、これに対応する常勤の医師、看護師等を次のように確保する。 <table border="0"> <tr> <td>医師</td> <td>30 人 (常勤医)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>129 人</td> <td></td> </tr> </table> <p>(救命救急センター、一般病棟 7 対 1 入院基本料への対応分等を含む)</p> <p>その他 必要人数 (薬剤師、臨床検査技師、事務員等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師に関しては、千葉大学医学部・同附属病院と共同の臨床教育システム (千葉大学医学部附属病院九十九里地域臨床教育センター (仮称)) を応用した医師派遣システム等を導入する。また、そのための千葉大学医学部・同附属病院との基本協定を平成 22 年度に締結する。 ・看護師に関しては、平成 22 年度から人材確保のための専門体制を整えるとともに、将来に向けた看護師の育成と安定的な確保を図るため平成 23 年度には城西国際大学をはじめとして奨学金制度の導入を開始する。 ・千葉大学、千葉県立保健医療大学、城西国際大学等の教育機関と連携し、看護師、薬剤師その他の人材の確保の基盤を整える。 	医師	30 人 (常勤医)		看護師	129 人		<p>(1) 人材の確保 (平成 26 年 4 月 1 日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師 30 人 (常勤医) <table border="0"> <tr> <td>内訳</td> <td>センター長</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>部長</td> <td>8 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>副部長</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医長</td> <td>13 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医員</td> <td>3 人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師 130 人 ・コメディカル職員 (看護師除く) 及び事務職員 55 人 <table border="0"> <tr> <td>内訳</td> <td>薬剤師</td> <td>8 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>臨床検査技師</td> <td>11 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>放射技師</td> <td>10 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理栄養士</td> <td>2 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>臨床工学技士</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>理学療法士</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>作業療法士</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医療ソーシャルワーカー</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務職</td> <td>14 人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・医師に関しては千葉大学医学部・同附属病院と「国立大学法人千葉大学と地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターとの千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターに関する協定」を平成 23 年 3 月 30 日に締結し、臨床教育センターのシステムを介して医師等 (特任教員) の確保体制を構築した。 	内訳	センター長	1 人		部長	8 人		副部長	5 人		医長	13 人		医員	3 人	内訳	薬剤師	8 人		臨床検査技師	11 人		放射技師	10 人		管理栄養士	2 人		臨床工学技士	3 人		理学療法士	3 人		作業療法士	1 人		医療ソーシャルワーカー	1 人		事務職	14 人	<p>3</p>
医師	30 人 (常勤医)																																																		
看護師	129 人																																																		
内訳	センター長	1 人																																																	
	部長	8 人																																																	
	副部長	5 人																																																	
	医長	13 人																																																	
	医員	3 人																																																	
内訳	薬剤師	8 人																																																	
	臨床検査技師	11 人																																																	
	放射技師	10 人																																																	
	管理栄養士	2 人																																																	
	臨床工学技士	3 人																																																	
	理学療法士	3 人																																																	
	作業療法士	1 人																																																	
	医療ソーシャルワーカー	1 人																																																	
	事務職	14 人																																																	

(2)開院に向けた教育研修体制の整備
開院前における医師・看護師等の確保と並行し、これらの者が開院直後から円滑に医療を提供できるための教育研修の体制、システム等を整備すること。

(2)開院に向けた他院における教育研修体制の整備
千葉大学医学部・同附属病院及び千葉県病院局と協議し、平成26年度の開設に向けて医師、看護師等が事前に実地での他院における教育研修が出来る制度を整備する。

・看護師に関しては看護部長を中心に募集体制を整え、看護師養成施設等への訪問、就職説明会等を実施し人材確保の基盤を整えた。

看護師養成施設訪問数(単位：件)

	H23	H24	H25
訪問施設数	83	63	60

・平成23年度より看護師養成機関学生の奨学金制度を設立して以下のおり給付した。

奨学金受給者数(単位：人)

	H23	H24	H25
H24.4採用予定	1		
H25.4採用予定	3	4	
H26.4採用予定	4	7	12
H27.4採用予定		6	10
H28.4採用予定		8	8
合計	8	25	30
計画	15	15	30

・(参考)東金市看護師養成奨学資金貸付条例による奨学金制度が制定され下記のおり給付があった。(上記とは別の東金市・九十九里町による城西国際大学看護学部学生を対象とした奨学金制度)

奨学金受給者数(単位：人)

	H24	H25
H28.4採用予定	15	15
H29.4採用予定		15
合計	15	30
計画	15	30

(2)開院に向けて看護師研修を千葉大学医学部附属病院、千葉県立病院で実施した。

看護師研修医療機関(単位：人)

	H24	H25
千葉大学医学部附属病院	3	10
千葉県がんセンター		3
千葉県救急医療センター		2
千葉県こども病院		1
千葉県循環器病センター		4
千葉県立東金病院		3

5 医師会や地域の医療機関等との連携

メディカルセンターの整備に併せ、医師会や地域公立病院等との連携や役割分担のあり方について協議し、地域の医療環境の向上を図ること。

5 医師会や地域の医療機関等との連携

・地域完結型の医療提供を行うため、行政機関と連携し、県及び郡医師会、近隣医療機関等と急性期医療や慢性期疾患に対する医療等の医療機能の役割分担を推進する。また、地域医療連携室を設置し、切れ目のない医療提供システム等を構築する。
・夜間休日急病診療、二次救急輪番について、関係行政機関との協議を図り、将来に向けた救急医療提供体制を構築する。

・平成23年度より山武郡市医師会、千葉県医師会、日本医師会また地域医療の協議組織である山武地域医療協議会に加入した。

・メディカルセンター医師が県立東金病院にて診療参加し、医療機能の役割分担を進めるとともに引継ぎを行った。
診療参加 34回 医師3名
引継協議 平成26年3月7日
・山武長生夷隅医師会医師や消防・行政機関等に対し、メデ

3

		<p>ィカルセンターの役割や機能に対する講演や意見交換を行った。</p> <p>山武郡市医師会主催 平成 25 年 11 月 12 日 茂原市長生郡医師会主催 平成 25 年 7 月 31 日 山武広域行政組合主催 平成 25 年 11 月 6 日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室準備担当者である医療ソーシャルワーカーが地域医療機関を訪問し、医療状況の把握と医療連携の取り組みを進めた。 訪問施設数 42 施設 ・メディカルセンターと地域の医療機関等との医療連携を円滑に進めるため、「山武長生夷隅保健医療圏における地域医療連携会議」に出席し、意見交換を行った。 ・「二次救急医療輪番制検討協議会」に参加し、平成 26 年度からの二次救急輪番の参加を決定した。 			
--	--	---	--	--	--

第 3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	第 3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置				
1 効率的で財政上も健全な運営手法の確立	1 効率的で財政上も健全な運営手法の確立				
<p>充実した医療の提供と医師・看護師等が働きやすい環境を整えるとともに、効率的、かつ財政上も健全な運営を確立するため、IT システムや外部委託の有効活用を図ること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業務全体について統合的な IT システムを確立するため、平成 22 年度において IT 整備計画を策定する。 ・IT システムは、IT 整備計画に基づき、病院開設に向けた電子カルテ導入、財務会計制度の確立、医療機器等の導入等と並行して整備する。 ・最新の医学情報について千葉大学附属図書館の医学情報を閲覧できる電子情報システムの導入を図る。 ・開院後の委託業務を円滑に進めるため、政令 8 業務を含む外部委託に関する準備を進め、計画的に委託を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度に策定した IT 整備計画に基づき、プロポーザルにより、総合的な IT 部門システムを確立した。 ・医療機器等の整備にあわせ部門システムとの連携を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ○電子カルテ等情報システム導入業務 富士通(株)千葉支社 ○ネットワークシステム構築業務 ネットワンシステムズ(株) ○財務会計システム導入 ぎょうせい(株) ・電子ジャーナルについては、千葉大学附属図書館と連携し、千葉大学医学部と同様の環境を整えた。 ・政令 8 業務を含む各種外部委託については順次選定業者をプロポーザル等により選定し開院時に支障のないよう計画的に委託契約を締結し開院に備えた。 <ul style="list-style-type: none"> ○外注検査（検体検査）業務 (株)エスアールエル ○外注検査（微生物学的検査・病理学的検査）業務 (株)サンリツ ○物流管理業務等運営業務 アルフレッサメディカルサービス(株) ○患者給食及び職員食堂業務 (株)ティエフケー ○リネン管理等運営業務 ワタキューセイモア(株) ○清掃・警備・施設維持管理業務 (株)ダイケングループ ○一般廃棄物収集運搬処分業務 (株)中村総業 ○産業廃棄物収集運搬処分業務 三友プラントサービス(株) ○医事等業務 (株)ソラスト ○保育所運営業務 (株)サクセスアカデミー ○売店等運営事業 (株)光洋 	3		

2 魅力ある人事・給与制度の確立	2 魅力ある人事・給与制度の確立			
高度で専門的な医療を提供していくためには優秀な人材を確保する必要があり、能力や成果を反映した魅力ある人事・給与制度を確立すること。	平成 22 年度に病院開設時まで必要となる給与制度、報酬制度、自己点検・自己評価を反映できる勤務評価制度、教育制度等の人事制度を確立するものとし、地方独立行政法人としての有利性を生かした仕組みづくりを進める。また、人員配置については資格、経験や年齢を踏まえたものとする。	・平成 22 年度に策定した人事労務制度基本設計書に基づき給与制度等を整えた。 ・新卒者やマネジメント層の給与を手厚くし、雇用の確保を図りつつ業績に貢献した者が報われる報酬制度とした。 ・在職中の貢献度を反映しやすくするため、退職金の算定方法にポイント制度を取り入れた。 ・勤務評価制度については開院後段階的に導入することとした。 ・人員配置については、資格、経験や年齢を踏まえたものとした。	3	
3 会計制度の整備と運用	3 会計制度の整備と運用			
病院事業として適正な経理、運用が図れる会計制度を早期に整備すること。	平成 22 年度に基本となる財務会計制度を整えるとともに、地方独立行政法人としての弾力性を生かし、年度間、科目間での柔軟な運用が可能な財務会計制度とする。	・地方独立行政法人としての予算執行の弾力性を生かし複数年契約や科目間流用に対応した財務会計制度を整えた。	3	

第 4 財務内容の改善に関する事項	第 4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置			
1 健全な経営基盤の確立	1 健全な経営基盤の確立			
(1)権限と責任の所在を明確にした組織の確立 高度な専門性を有する様々な職種により成り立つ病院組織が有効に機能するため、権限と責任の所在を明確にした組織体制を確立すること。 (2)経営情報システムの構築 健全で効率的な経営を確立するために、経営判断や意思決定に資する有効な経営情報システムの導入計画を立て、開院前までに必要な整備を図ること。	(1)権限と責任の所在を明確にした組織の確立 平成 22 年度に基本となる組織制度を整えるとともに、平成 25 年度までに病院開設後必要となる組織計画を策定する。 (2)経営情報システムの構築 ・業務全体について統合的な IT システムを確立するため、平成 22 年度において IT 整備計画を策定する。(再掲) ・IT システムは、IT 整備計画に基づき、病院開設に向けた電子カルテ導入、財務会計制度の確立、医療機器等の導入等と並行して整備する。(再掲)	(1)権限と責任の所在を明確にした組織の確立 病院開設後の組織規程や職員採用計画を策定した。 (2)経営情報システムの構築 平成 22 年度に策定した IT 整備計画に基づき、プロポーザルにより、総合的な IT システムを確立した。また、医療機器等の整備にあわせ部門システムとの連携を図った。 ○電子カルテ等情報システム導入業務 富士通(株)千葉支社 ○ネットワークシステム構築業務 ネットワンシステムズ(株) ○財務会計システム導入 ぎょうせい(株) (再掲)	3	
2 支出の適正化	2 支出の適正化			
(1)建築関連 メディカルセンターに必要な機能や効率性を確保しつつ、イニシャルコスト及びトータルライフサイクルコストの観点からその妥当性に留意すること。特に公立病院改革ガイドラインに基づく整備費の抑制の方針を順守すること。 (2)人件費関連 質の高い医療を提供し、かつ円滑な開院のために必要な人材確保を行うとともに、人件費に関する支出の適正化を図ること。	(1)建築関連 起債償還、メンテナンス等の将来的な経営負担とメディカルセンターに必要な機能や効率性の確保についてバランスのとれた設計と建築を行う。特に、公立病院改革ガイドラインに基づく整備費の抑制の方針を順守した建築とする。 (2)人件費関連 医師、看護師等の給与等については、非公務員による運営であることを踏まえた給与制度とする。 (3)経営シミュレーションの実施 医療制度、診療報酬制度の改定等にあわせ、将来的な財務内容の適正化及び健全化の見直しを立てるため、随時経営シミュレーションの見直しを行う。	(1)建築関連 ・機能や効率性を考慮して設計建築を行うとともに工事費抑制のための設計見直しを随時実施して建設工事を行った。 274 千円/㎡ (参考)公立病院ガイドライン 水準整備費 250 千円/㎡～300 千円/㎡ (2)人件費関連 ・平成 22 年度に策定した人事労務制度基本設計書に基づき給与制度等を整えた。 ・新卒者やマネジメント層の給与を手厚くし、雇用の確保を図りつつ業績に貢献した者が報われる報酬制度とした。 ・在職中の貢献度を反映しやすくするため、退職金の算定方法にポイント制度を取り入れた。 ・勤務評価制度については開院後段階的に導入することとした。(再掲) (3)経営シミュレーションの実施 ・平成 24 年度に中期計画予算比で 9 億円の増加となったためシミュレーションの見直しを実施した。 ・平成 29 年度までを計画期間とする第 2 期中期計画の策定にあたり、35 年度まで(10 年間)の予算、収支計画、資金計画を作成した。	3	

第5 その他業務運営に関する重要事項	第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置																																																						
<p>1 実施スケジュールの確立</p> <p>平成 26 年 4 月 1 日の開院を目指し、地方独立行政法人としての実施体制の整備、建築に係る設計・施工、医師・看護師等の人材確保、その他必要な事項についてスケジュールを確立すること。</p>	<p>1 実施スケジュールの確立</p> <p>平成 22 年度から平成 25 年度の実施スケジュールは次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="733 310 1442 1163"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成 22 年度</th> <th>平成 23 年度</th> <th>平成 24 年度</th> <th>平成 25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理運営体制</td> <td>人事組織制度、財務制度の確立</td> <td>事業執行体制の拡充強化</td> <td>事業執行体制の拡充強化</td> <td>事業執行体制の拡充強化</td> </tr> <tr> <td>施設建築関係等</td> <td>用地取得実施設計</td> <td>実施設計・建築工事</td> <td>建築工事</td> <td>建築工事 主要医療機器設置 物品調達</td> </tr> <tr> <td>医師確保</td> <td>臨床教育センターに関する基本合意</td> <td>主要スタッフの確保準備</td> <td>主要スタッフの確保</td> <td>主要スタッフの確保 実地研修 研修派遣</td> </tr> <tr> <td>看護師等のメディカル確保</td> <td>看護師募集の手法、スケジュールの確立 薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討</td> <td>幹部スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動</td> <td>主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動</td> <td>主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動 実地研修 研修派遣</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	管理運営体制	人事組織制度、財務制度の確立	事業執行体制の拡充強化	事業執行体制の拡充強化	事業執行体制の拡充強化	施設建築関係等	用地取得実施設計	実施設計・建築工事	建築工事	建築工事 主要医療機器設置 物品調達	医師確保	臨床教育センターに関する基本合意	主要スタッフの確保準備	主要スタッフの確保	主要スタッフの確保 実地研修 研修派遣	看護師等のメディカル確保	看護師募集の手法、スケジュールの確立 薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討	幹部スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動	主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動	主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動 実地研修 研修派遣	<p>スケジュールどおり進捗した。</p> <table border="1" data-bbox="1454 310 2243 1163"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成 22 年度</th> <th>平成 23 年度</th> <th>平成 24 年度</th> <th>平成 25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理運営体制</td> <td>人事組織制度、財務制度の確立</td> <td>事業執行体制の拡充強化</td> <td>事業執行体制の拡充強化</td> <td>事業執行体制の拡充強化</td> </tr> <tr> <td>施設建築関係等</td> <td>用地取得実施設計</td> <td>実施設計・建築工事</td> <td>建築工事</td> <td>建築工事 主要医療機器設置 物品調達</td> </tr> <tr> <td>医師確保</td> <td>臨床教育センターに関する基本合意</td> <td>主要スタッフの確保準備</td> <td>主要スタッフの確保</td> <td>主要スタッフの確保 実地研修 研修派遣</td> </tr> <tr> <td>看護師等のメディカル確保</td> <td>看護師募集の手法、スケジュールの確立 薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討</td> <td>幹部スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動</td> <td>主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動</td> <td>主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動 実地研修 研修派遣</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	管理運営体制	人事組織制度、財務制度の確立	事業執行体制の拡充強化	事業執行体制の拡充強化	事業執行体制の拡充強化	施設建築関係等	用地取得実施設計	実施設計・建築工事	建築工事	建築工事 主要医療機器設置 物品調達	医師確保	臨床教育センターに関する基本合意	主要スタッフの確保準備	主要スタッフの確保	主要スタッフの確保 実地研修 研修派遣	看護師等のメディカル確保	看護師募集の手法、スケジュールの確立 薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討	幹部スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動	主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動	主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動 実地研修 研修派遣	3		
項目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度																																																			
管理運営体制	人事組織制度、財務制度の確立	事業執行体制の拡充強化	事業執行体制の拡充強化	事業執行体制の拡充強化																																																			
施設建築関係等	用地取得実施設計	実施設計・建築工事	建築工事	建築工事 主要医療機器設置 物品調達																																																			
医師確保	臨床教育センターに関する基本合意	主要スタッフの確保準備	主要スタッフの確保	主要スタッフの確保 実地研修 研修派遣																																																			
看護師等のメディカル確保	看護師募集の手法、スケジュールの確立 薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討	幹部スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動	主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動	主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動 実地研修 研修派遣																																																			
項目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度																																																			
管理運営体制	人事組織制度、財務制度の確立	事業執行体制の拡充強化	事業執行体制の拡充強化	事業執行体制の拡充強化																																																			
施設建築関係等	用地取得実施設計	実施設計・建築工事	建築工事	建築工事 主要医療機器設置 物品調達																																																			
医師確保	臨床教育センターに関する基本合意	主要スタッフの確保準備	主要スタッフの確保	主要スタッフの確保 実地研修 研修派遣																																																			
看護師等のメディカル確保	看護師募集の手法、スケジュールの確立 薬剤師、臨床検査技師等の募集手法の検討	幹部スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動	主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動	主要スタッフの確保 看護師、薬剤師、臨床検査技師等の募集活動 実地研修 研修派遣																																																			
<p>2 財政負担の原則</p> <p>医療センターの整備に係る事業費を 125.71 億円と予定し、これに対応する東金市及び九十九里町からの出資金、負担金、貸付金等及び国・県からの補助金等により事業を行うこと。</p>	<p>2 財政負担の原則</p> <p>施設及び整備に関する全体計画(平成 22 年度～25 年度)</p> <table border="1" data-bbox="733 1289 1442 1457"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等の整備</td> <td>総額 12,854 百万円</td> <td>東金市及び九十九里町からの出資金、負担金、貸付金等及び国・県からの補助金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>・メディカルセンターの整備に係る事業費は、東金市、九十九里町等からの出資金、負担金、補助金等を除き、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターが負担する。</p>	施設及び設備の内容	予定額	財源	病院施設、医療機器等の整備	総額 12,854 百万円	東金市及び九十九里町からの出資金、負担金、貸付金等及び国・県からの補助金等	<p>東金市及び九十九里町からの負担金、貸付金及び千葉県からの補助金を財源として、施設設備を行った。</p> <table border="1" data-bbox="1454 1289 2243 1444"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>支出額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等の整備</td> <td>総額 13,786 百万円</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	支出額	病院施設、医療機器等の整備	総額 13,786 百万円	3																																										
施設及び設備の内容	予定額	財源																																																					
病院施設、医療機器等の整備	総額 12,854 百万円	東金市及び九十九里町からの出資金、負担金、貸付金等及び国・県からの補助金等																																																					
施設及び設備の内容	支出額																																																						
病院施設、医療機器等の整備	総額 13,786 百万円																																																						
<p>3 地域に対する広報</p> <p>メディカルセンターの理念や役割を広報し、地域住民の理解を深めること。</p>	<p>3 地域に対する広報等</p> <ul style="list-style-type: none"> 東金市及び九十九里町と協議し、メディカルセンターの整備状況等を定期的に応報する。 住民に開かれたメディカルセンターとするため、情報提供と情報公開を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 建設工事進捗状況、看護師の公募、診療情報等について、広報紙「医療センターNEWS」、ホームページ、市町広報に掲載して広報を行った。 建設工事説明会を開催し工事協力依頼をするとともにメディカルセンターの役割に対する理解を得た。 平成 24 年 6 月 13 日 千葉東テクノグリーンパーク連絡協議会 平成 24 年 6 月 13 日 丘山地区 平成 24 年 6 月 30 日 季美の森地区(東金・大網白里市) 中期目標・中期計画、年度計画、理事会議事録、財務諸表等についてホームページに掲載して情報提供を行った。 	3																																																				

		<p>(評価委員会評価結果等については東金市ホームページに掲載)</p> <p>医療センターNEWS 発行・HP アクセス数(単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療センター NEWS 発行</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ホームページアクセス数</td> <td>-</td> <td>38,000</td> <td>58,300</td> <td>102,368</td> </tr> </tbody> </table> <p>・開院前に内覧会を実施し、医療機能や施設設備に対する理解を得た。 平成 26 年 3 月 29 日 来場者 1,660 人 内訳</p> <table> <tr> <td>招待者</td> <td>160 人</td> </tr> <tr> <td>東金市民</td> <td>740 人</td> </tr> <tr> <td>九十九里町</td> <td>110 人</td> </tr> <tr> <td>大網白里市</td> <td>400 人</td> </tr> <tr> <td>ほか</td> <td>250 人</td> </tr> </table>		H22	H23	H24	H25	医療センター NEWS 発行	3	1	3	1	ホームページアクセス数	-	38,000	58,300	102,368	招待者	160 人	東金市民	740 人	九十九里町	110 人	大網白里市	400 人	ほか	250 人			
	H22	H23	H24	H25																										
医療センター NEWS 発行	3	1	3	1																										
ホームページアクセス数	-	38,000	58,300	102,368																										
招待者	160 人																													
東金市民	740 人																													
九十九里町	110 人																													
大網白里市	400 人																													
ほか	250 人																													

	第 6 予算 (人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画			
	1 予算 (平成 22 年度～平成 25 年度) 2 収支計画 (平成 22 年度～平成 25 年度) 3 資金計画 (平成 22 年度～平成 25 年度) 別表 1 のとおり	1 決算 (平成 22 年度～平成 25 年度) 2 収支実績 (平成 22 年度～平成 25 年度) 3 資金実績 (平成 22 年度～平成 25 年度) 別表 1 のとおり		

	第 7 短期借入金の限度額			
	1 限度額 500 百万円 2 想定される短期借入金の発生理由 (1) 運営費負担金の受入れ遅延等による資金不足への対応 (2) その他、偶発的な資金不足への対応			

	第 8 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画			
	なし			

	第 9 剰余金の使途			
	該当剰余金なし (医業を開始していないことによる)			

	第 10 料金に関する事項			
	該当料金なし (医業を開始していないことによる)			

	第 11 その他業務運営に関する重要事項 (平成 22 年度～平成 25 年度)			
	(1) 施設及び設備に関する計画 別表 2 のとおり (2) 積立金の処分に関する計画 なし	(1) 施設及び設備に関する実績 別表 2 のとおり		

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務実績の評価方法

平成23年2月9日

地方独立行政法人

東金九十九里地域医療センター評価委員会

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター（以下「法人」という。）の業務の実績に関する評価の方法について、次のとおり定める。

1 評価の基本方針

業務の実績に関する評価は、地方独立行政法人法(以下「法」という。)第28条の規定による「各事業年度に係る業務の実績に関する評価」及び同法第30条の規定による「中期目標に係る業務の実績に関する評価」とし、業務の実績の全体について総合的な評価を行うものとする。

(1) 各事業年度に係る業務の実績に関する評価

中期目標及び中期計画に基づき作成された年度計画を踏まえ、当該事業年度における業務の実績の全体について、総合的に評価するものとする。

(2) 中期目標に係る業務の実績に関する評価

中期目標及び中期計画を踏まえ、当該中期目標の期間における業務の実績の全体について、総合的に評価するものとする。

2 各事業年度に係る業務の実績に関する評価の方法

各事業年度に係る業務の実績に関する評価は、法第26条第2項に係る事項について行う「項目別評価」と業務実績の全体について行う「全体評価」を併せて行うものとする。

(1) 項目別評価

項目別評価は、各項目ごとに数値その他による客観的な事実の確認に基づき、次の5段階による評価を行うものとする。

- 5 … 年度計画を大きく上回って実施している
- 4 … 年度計画をやや上回って実施している
- 3 … 年度計画を予定どおりに実施している
- 2 … 年度計画を十分には実施できていない
- 1 … 年度計画を大幅に下回っている

(2) 全体評価

全体評価は、「(1)項目別評価」の結果を踏まえ、次の5段階による評価及び記述式による評価を行うものとする。

- S … 計画を大幅に達成し、又は計画よりも大幅に進捗していると認められる
- A … 計画をやや超えて達成し、又は計画よりもやや進んでいると認められる
- B … 概ね計画どおりに進んでいると認められる
- C … 計画をやや下回り、又は計画よりもやや遅れていると認められる
- D … 計画をかなり下回り、若しくは計画よりも大幅に遅れ、又は業務運営に関して重大な改善すべき事項等が認められる

(3) 評価等の手順

評価等の手順は、次に定めるところにより行うものとする。

- ① 法人は、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務運営等に関する規則(東金市規則第22号。以下「東金市規則」という。)第6条の規定による報告書(以下「年度業務実績報告書」という。)を作成し、当該規則の定める期限までに評価委員会に提出する。この場合において、法人は、年度業務実績報告書について項目別評価に準じた自己評価を行うとともに、委員会が行う評価のための調査・分析に係る資料を併せて提出するものとする。
- ② 委員会は、年度業務実績報告書の提出があったときは、法人の自己評価及び提出された調査・分析に係る資料に基づき評価を行うものとし、必要に応じ、法人の理事、職員等に対する聞き取りを行い、又は、新たな資料の提出を求めるものとする。
- ③ 委員会は、評価結果の決定にあたり、あらかじめ法人に意見申し出の機会を付与するものとする。
- ④ 委員会は、評価結果を決定したときは、法第28条第3項の規定による法人への通知を行うものとし、特に業務運営の改善その他について勧告すべき事項があるときは、当該勧告も併せて行うものとする。
- ⑤ 委員会は、評価結果を法人に通知したときは、法第28条第4項の規定により当該結果を設立団体の長に報告するとともに、これを公表する。

3 中期目標に係る業務の実績に関する評価の方法

中期目標に係る業務の実績に関する評価は、法第25条第2項第2号から第5号までに係る事項について行う「項目別評価」と業務実績の全体について行う「全体評価」を併せて行うものとする。

(1) 項目別評価

項目別評価は、各項目ごとに数値その他による客観的な事実の確認に基づき、

中期目標期間における実績について、次の5段階による評価を行うものとする。

- 5 … 中期目標を大きく上回って実施している
- 4 … 中期目標をやや上回って実施している
- 3 … 中期目標を予定どおりに実施している
- 2 … 中期目標を十分には実施できていない
- 1 … 中期目標を大幅に下回っている

(2) 全体評価

全体評価は、「(1)項目別評価」の結果を踏まえ、次の5段階による評価及び記述式による評価を行うものとする。

- S … 中期目標を大幅に達成し、又は中期目標よりも大幅に進捗していると認められる
- A … 中期目標をやや超えて達成し、又は中期目標よりもやや進んでいると認められる
- B … 概ね中期目標を達成していると認められる
- C … 中期目標をやや下回り、又は中期目標よりもやや遅れていると認められる
- D … 中期目標をかなり下回り、若しくは中期目標よりも大幅に遅れ、又は業務運営に関して重大な改善すべき事項等が認められる

(3) 評価等の手順

評価等の手順は、次に定めるところにより行うものとする。

- ① 法人は、東金市規則第8条の規定による中期目標に係る業務実績報告書を作成し、当該規則の定める期限までに評価委員会に提出する。この場合において、法人は、当該業務実績報告書について項目別評価に準じた自己評価を行うとともに、委員会が行う評価のための調査・分析に係る資料を併せて提出するものとする。
- ② 委員会は、中期目標に係る業務実績報告書の提出があったときは、法人の自己評価及び提出された調査・分析に係る資料に基づき評価を行うものとし、必要に応じ、法人の理事、職員等に対する聞き取りを行い、又は、新たな資料の提出を求めるものとする。
- ③ 委員会は、評価結果の決定にあたり、あらかじめ法人に意見申し出の機会を付与するものとする。
- ④ 委員会は、評価結果を決定したときは、法第30条第3項で準用する法28条第3項の規定による法人への通知を行うものとし、特に業務運営の改善その他について勧告すべき事項があるときは、当該勧告も併せて行うものとする。
- ⑤ 委員会は、評価結果を法人に通知したときは、法第30条第3項で準用する

法第28条第4項の規定により当該結果を設立団体の長に報告するとともに、これを公表する。

4 その他

(1) 中期目標に係る暫定評価等の実施

設立団体の長は、次期中期目標等の検討のため必要があると認めたときは、中期目標期間が満了する前に、「3 中期目標に係る業務の実績に関する評価の方法」の例により、評価委員会及び法人に対し、中期目標に係る暫定評価を行わせることができるものとする。

(2) 評価の方法の見直し等

評価委員会は、業務の実績に関する評価の方法について見直しする必要があると認めたときは、評価委員会において協議しこれを改正するものとする。

財務諸表に対する意見聴取の方針

平成23年5月30日

地方独立行政法人

東金九十九里地域医療センター評価委員会

1. 評価委員会による意見聴取の方針

地方独立行政法人法では、地方独立行政法人の財務諸表についての設立団体の長の承認は、評価委員会の意見を聴取して行うこととなっている。(法第34条)

財務諸表は、住民その他の利害関係者の判断を誤らせることのないよう財務状況及び運営状況を適切に表す必要があるため、次のとおり法規性の遵守及び表示内容の適正性について評価委員会において確認するものとする。

なお、財務諸表等の数値については監事による監査の対象となっているため、主要な計数等について確認するものとする。

2. 確認の内容

(1) 法規性の遵守

確認項目	備考
1. 提出期限は遵守されたか (法第34条第1項)	・事業年度終了後、3月以内
2. 必要書類は全て提出されたか (法第34条第1項、第2項)	・財務諸表(貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書、利益の処分又は損失の処理に関する書類、行政サービス実施コスト計算書、附属明細書) ・決算報告書 ・事業報告書 ・監事の監査報告書
3. 監事の監査報告書に、財務諸表の承認にあたり考慮すべき意見はないか	

(2) 表示内容の適正性

確認項目	備考
1. 記載すべき項目について、明らかな遺漏はないか	・表示科目、会計方針、注記等 (地方独立行政法人会計基準に基づく)
2. 計数は整合しているか	
3. 書類相互間における数値整合はとれているか	

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター平成26年度年度計画

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 救急医療

救命救急センターとしての機能を発揮し、脳卒中・急性心筋梗塞・多発外傷・熱傷・急性中毒等の重篤救急患者に対して24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し広域的な患者の受入に対応する。

また、初期救急医療については、夜間急病診療所や休日在宅当番医の後方ベッドとしての役割を担うとともに、医師会の協力を仰ぎ夜間急病診療所機能のメディカルセンターへの移転等について検討する。

二次救急医療については、他の病院群輪番制病院の後方ベッドとしての役割を担うとともに、平成26年5月より一月あたり夜間4コマ（内科系・外科系各2コマ）、6月より休日日中2コマ（内科系・外科系各1コマ）病院群輪番制に参加する。

〈関連する数値目標〉

事 項	平成26年度目標
救急車搬送受入患者数	1,600人

2 地域の中核病院として担うべき医療

(1) 小児医療・小児救急医療

小児科を中心とした3階混合病棟において、急性疾患を中心に入院治療に対応した小児医療を提供する。

また、救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力の下小児救急医療への対応ができるよう準備を整える。

(2) 周産期医療

周産期病床において、正常分娩を中心に対応した周産期医療ができるよう人材確保を行い準備を整える。

(3) 災害医療

DMA T（災害派遣医療チーム）の整備を図り、地域災害拠点病院の指定を受ける。千葉大学医学部附属病院のDMA Tとの連絡体制を整える。

災害発生時に備え、地域医療機関、医師会、自治体等との連絡体制を確保するとともに、小型非常用発電装置、医薬品、診療材料、飲料水等を段階的に配備する。

また、メディカルセンター全体を対象としたトリアージ訓練等の災害医療訓練を行うとともに、DMA Tを中心に災害救護を想定した各種訓練に参加し、災害医療に対応可能な体制を整備する。

(4) 感染症医療

結核については結核患者収容モデル病床を整備し、結核患者に対応した医療を提供する。

H I V（ヒト免疫不全ウイルス）感染症に関する専門医の確保について検討する。

また、新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生したときは、地域医療機関、医師会、自治体等と密接に連携しながら迅速かつ適切な対応を行う。

3 高度専門医療

(1) 4疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）への対応

① がん

消化器がん（食道・胃・大腸・直腸・肝・胆道・膵等）に対応し、病態に応じて、内視鏡治療、外科手術、化学療法及び緩和ケア医療を提供するとともに、放射線治療を必要とする場合は必要に応じて千葉大学医学部附属病院と連携して治療を行う。

がん検診の精密検査については、上記に加え、肺がん、子宮がんについても対応する。

地域におけるがん診療の拠点的機能を有する病院として、地域がん診療連携協力病院の指定を目指す。

② 脳卒中

脳卒中等の脳血管疾患については、24時間365日体制で迅速な診断、治療をはじめ、特に増加傾向にある脳梗塞患者に対するt-PA（血栓溶解薬）の急性期静脈内投与や血行再建術等を要する治療を行う。

また、急性期医療に専念するため、地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し回復期の患者の受入先を確保する。

③ 急性心筋梗塞

急性心筋梗塞については、24時間365日体制で冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法による急性期医療を中心に提供する。

④ 糖尿病

平成27年度より診療を開始する予定の糖尿病については、糖尿病性腎症等の合併症を有する患者等で症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析導入について対応できるよう準備を行う。

また、糖尿病の治療が必要な患者については地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し受入先を確保する。

(2) 高度で専門性の高い医療

① 高度な総合医療

入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供するとともに、各診療科の体制を整備し、外来診療については地域医療機関との役割分担のもと専門外来を中心に高度医療機器等による検査等を行うことで、地域の中核病院として高度な総合医療を提供する。

② チーム医療の推進

それぞれの専門性をもつ医療従事者が、目的と情報を共有し、互いに連携しながら患者本位の医療を提供することを目指し、救急部門と各診療科の連携による救急医療を提供する。また、早期リハビリ等の分野におけるチーム医療体制を整備する。

③ 高度専門医療の充実

医療需要の質的、量的な変化や新たな医療課題に適切かつ柔軟に対応するため、必要に応じて診療科の再編や病院機能の充実又は見直しを行い、より高度な専門医療体

制を目指す。

また、医療水準の更なる向上を図るため、法律等に基づく指定医療機関の指定を目指す。

4 安全・安心で信頼される医療

(1) 医療安全対策の徹底

① 医療安全対策の徹底

医療安全管理委員会を設置し、院内で発生した又は発生しそうになった医療安全上の問題点についての収集、分析及び結果の検証を行うとともに、医療事故発生時には十分な検証と検証結果を公表するなど医療安全対策を徹底する。

また、医療安全管理マニュアル等の各種マニュアルを整備するとともに、医療安全研修を実施し全職員が医療安全に対する共通理解と知識の向上を図る。

② 院内感染防止対策の徹底

感染管理委員会による研修会の実施、また、千葉大学医学部附属病院との合同カンファレンスなど、院内感染防止に関する教育、訓練及び啓発を行い、医師をはじめとした医療スタッフの知識の向上を図るとともに、問題点を把握し改善策を講ずるなど院内感染防止対策を徹底する。

また、院内感染防止に関するマニュアルを整備し、院内感染が発生した場合はマニュアル等に基づき適切に対処する。

(2) 患者の視点に立った医療の実践

インフォームド・コンセントを徹底するため、患者やその家族に対し満足度調査等を実施し、現状を把握する。

(3) 医療の標準化と診療情報の分析

クリニカルパス推進委員会を中心に、より効果的な医療を提供することで患者負担を軽減し、治療期間の短縮にも寄与できるようクリニカルパスの積極的な活用を図る。

また、診療情報データ提出を行い、DPC（診断群分類別包括評価）対象病院の認定を目指す。

(4) 法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）

公的使命を適切に果たすため、医療法（昭和23年法律第205号）をはじめ、関係法令を遵守するとともに、住民からの信頼を確保するために各種マニュアルを整備し、適切な運用を図る。

5 患者・住民サービスの向上

(1) 利用しやすい病院づくり

患者や来院者が快適に過ごせるよう院内清掃を徹底する。出入口への車いすの配置や、総合案内の設置により高齢者や障害者が安心して医療を受けられる体制を整備する。

また、患者サービス向上委員会を活用し入院患者やその家族を対象に満足度調査を行い、現状を把握する。

(2) 患者の待ち時間への配慮

外来診療、会計等の待ち時間に配慮し、外来診療の予約制を導入する。

(3) 患者・来院者の利便性への配慮

患者や来院者の利便性に配慮し、売店やATMの設置、クレジットカード決済を導入する。

(4) 住民への保健医療情報の提供

広報委員会を中心に医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、住民対象の公開講座の開催やホームページの活用等により保健医療情報を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を図る。

(5) 職員の接遇向上

患者や来院者に接するに相応しい接遇を職員一人ひとりが心がけ、思いやりと気配りがあふれ、心落ち着く対応を行うための研修を実施する。

6 地域医療への貢献

(1) 地域医療機関等との連携推進

地域医療連携室を中心に、紹介された患者の受入と患者に適した地域医療機関等への逆紹介を推進するとともに、千葉県が推進する循環型地域医療連携システム（地域医療連携パス）の活用を図ることで、患者が急性期から回復まで切れ目のない医療を受けられる体制を整備する。

<関連する数値目標>

事 項	平成26年度目標
紹介率	40%
逆紹介率	60%

(2) 保健福祉行政等との協力

地域保健及び福祉施策に協力し自治体担当部局と連携を図るとともに、自治体消防部局と連携し救急救命士や救急隊員の教育を行う。

また、医師会については、その活動に積極的に参加し情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図る。

(3) 疾病予防の取組

予防医療の一環として、予防接種については、インフルエンザワクチン等各種ワクチンの個別接種を行う。

7 メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟

平成26年度については以下のとおりとし、平成28年度までの3年間で段階的に診療科を開設する。

なお、呼吸器内科及びリハビリテーション科については前倒して平成26年度からの開設とする。

	平成26年度
診療科 (診療科数)	内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 (16科)
開設病棟 (一般病棟)	146床 3病棟 126床

(救命救急 センター)	I C U	1 0 床
	H C U	1 0 床
医師数	3 5 人	
看護師数	1 4 5 人	

※上記については年度末の数値であり、医師数には後期研修医を含んでいる。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備

(1) 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備

医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップのもと各部門責任者や院内委員会等に明確な役割分担と適切な権限配分を行い、意思決定を迅速かつ適切に行うことができる効率的かつ効果的な業務運営体制を整備する。

また、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するため、各部門責任者等で構成する自己評価のための組織を立ち上げ、目標達成の進捗管理のための準備を行う。

(2) 人員配置の弾力的運用

開院初年度の流動的な患者動向に対応するため、定期的又は必要に応じて迅速に医師や看護師等の人員配置の見直しを適宜行う。

(3) 人事評価制度の導入

職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、職員の自己点検・自己評価が反映され、勤務実績や能力、組織への貢献度が適正に評価される人事評価制度を導入する。効果的な評価制度とするため、評価者研修等を行う。

(4) 外部評価

① 監査の活用

監査によって指摘を受けた事項については、必要な見直しを適宜行うとともにその結果を公表する。

② 病院機能評価等の活用

組織的に医療を提供するための基本的な活動や機能を適切に実施しているかを検証するため、病院機能評価等の評価項目による検証を行うための準備を行う。

③ 住民意見の活用

住民意見を病院運営に反映させるため、患者サービス向上委員会を活用した満足度調査の実施や意見箱の設置などにより住民から意見を収集し、現状を把握する。

2 人材の確保

(1) 千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携

千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、医師の養成及びメディカルセンターへの定着を図るとともに、指導医による安定的な診療体制を整備する。

(2) 医師の確保

千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、臨床研修医

の受入体制を検討する。

(3) 看護師の確保

質の高い看護を提供するため、合同就職説明会への参加、就職説明会・採用試験の複数回実施、インターネットをはじめとした各種媒体への広告掲載、奨学金制度等により、各部門に応じた入院基本料に対応する看護師配置基準による計画的な看護師確保を図る。

また、千葉大学、城西国際大学等の看護師養成機関からの看護学生の実習を積極的に受け入れ、地域における看護師の育成に寄与する。特に最終学年の学生を対象にインターンシップを実施し、実際の医療現場を経験させることで卒業後のメディカルセンターへの就職希望者の確保を図る。

3 人材育成

部門、職種及び階層に応じた研修計画をする。学会、研究会及び研修会への参加と職務上必要な資格の取得を計画的に促進する。

医師については、各分野の認定専門医、看護師については、専門看護師、認定看護師等の資格取得を促進するとともに、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術職についても、専門性と医療技術の向上に向けた計画的な研修計画の策定を検討する。

また、事務職員については、診療情報管理士等の必要な資格取得を促進する。

4 働きやすい職場環境の整備

医師・看護師宿舎及び院内保育所を運営する。医師・看護師等の負担軽減に配慮した事務補助員を配置する。育児短時間勤務制度等の育児中の職員に配慮した制度の整備、職員の休暇取得の促進等の取組を進める。

5 職員給与の原則

職員の給与については、法人の業務実績を反映させた給与制度の導入を検討する。

<関連する数値目標>

事 項	平成26年度目標
職員給与費対医業収益比率	70.7%

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 健全な経営基盤の確立

(1) 健全な経営基盤の確立

病院運営会議にて組織運営を行うとともに、全職員がコストに対する適正な認識を持ち業務に取り組むため院内研修会等を開催する。

(2) 経営情報システムの整備

IT整備計画に基づき、財務会計システム等の経営判断や意思決定に資する有効なシステムの導入を図るなど経営管理を適切に行うシステムを整備する。

2 収益の確保と費用の合理化

(1) 収益の確保

医療環境の変化等に的確に対応し、適切な施設基準の取得による診療報酬の確保を図るとともに、経営会議にて医事統計資料を活用し病床利用率の向上や高度医療機器の稼働率向上に取り組む。

また、査定返戻等の防止に取り組むために保険委員会を、診療費未収金の発生防止のために患者相談窓口をそれぞれ設置する。

(2) 費用の合理化

中期的視点で予算編成を行い、予算科目や年度間で弾力的に運用できる地方独立行政法人の会計制度の特性を活かした効率的な予算執行を行うとともに、透明性、公平性の確保に十分留意しつつ民間病院の取組を参考に複数年契約、複合契約等の多様な契約手法の導入や外部委託の活用を図る。

また、薬品、診療材料の在庫管理を適正に行い院内在庫を必要最小限に抑えるとともに、薬事委員会にてジェネリック医薬品を積極的に採用し、費用の節減を図る。

<関連する数値目標>

事 項		平成26年度目標
経常収益		3,363百万円
入院	一般病床利用率	70%
	平均患者数	88.2人/日
	診療報酬単価	40,400円
外来	平均患者数	412.2人/日
	診療報酬単価	7,070円

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

1 財政負担の原則

運営費負担金等（地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第85条第1項に基づき設立団体が負担すべき経費及び同法第42条に基づき設立団体が交付できる金額をいう。以下同じ）は、「地方独立行政法人法等の施行に係る公営企業型地方独立行政法人の取扱いについて（平成16年4月1日総財公第39号総務省自治財政局公営企業課長通知）」中、「第一 設立団体が負担すべき経費等について」に定められた基準により、救急医療、災害時医療等の政策医療に係る経費及び高度医療、小児医療、周産期医療等の不採算経費に充てる。

また、長期借入金等元利償還金に充当する運営費負担金等については料金助成のための運営費負担金等とする。

2 地域に対する広報

医療センターNEWS等の発行やホームページの活用により情報提供を行う。

第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1 予算（平成26年度）

別表1のとおりとする。

2 収支計画（平成26年度）

別表2のとおりとする。

3 資金計画（平成26年度）

別表3のとおりとする。

第6 短期借入金の限度額

1 限度額

500百万円

2 想定される短期借入金の発生事由

- (1) 運営費負担金等の受入遅延等による資金不足への対応
- (2) その他、偶発的な資金不足への対応

第7 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画

なし

第8 前章に規定する財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし

第9 剰余金の使途

なし

第10 料金に関する事項

1 料金

理事長は、料金として次に掲げる額を徴収する。

- (1) 健康保険法（大正11年法律第70号）第76条第2項（同法第149条において準用する場合を含む。）及び高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）第71条第1項の規定に基づく方法により算定した額
- (2) 健康保険法第85条第2項（同法第149条において準用する場合を含む。）及び高齢者の医療の確保に関する法律第74条第2項の規定に基づく基準により算定した額
- (2) (1)及び(2)以外のものについては、理事長が別に定める額

2 減免

理事長は、特別の理由があると認めるときは、料金の全部又は一部を減額し、又は免除することができる。

第11 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画

施設及び設備の内容	予定額	財源
医療機器等の購入	総額 300百万円	東金市及び九十九里町長期借入金 等

備考

- 1 金額については、見込みである。
- 2 各事業年度の東金市及び九十九里町長期借入金等の具体的な額については、各事業年度の予算編成過程において決定される。
- 3 医療機器等の選定にあたっては、費用対効果、地域住民の医療需要、償還等の負

- 担を十分に考慮した上で行う。
- 2 積立金の処分に関する計画
なし

別表 1
 予算(平成 26 年度)

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
営業収益	3,238
医業収益	2,686
運営費負担金収益	539
補助金等収益	3
その他営業外収益	10
営業外収益	125
運営費負担金収益	125
その他営業外収益	
資本収入	900
運営費負担金収益	
長期借入金	900
その他資本収入	
その他の収入	
計	4,263
支出	
営業費用	3,633
医業費用	3,517
給与費	1,784
材料費	645
経費	1,088
その他医業費用	
一般管理費	116
営業外費用	150
資本支出	300
建設改良費	300
償還金	
その他資本支出	
その他の支出	
計	4,083

(注 1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

(注 2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

【人件費の見積り】

総額 1,900 百万円を支出する。

なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

別表 2
収支計画(平成 26 年度)

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入の部	3,369
営業収益	3,244
医業収益	2,686
運営費負担金収益	539
補助金等収益	3
資産見返運営費負担金戻入	6
その他営業収益	10
営業外収益	125
運営費負担金収益	125
その他営業外収益	
臨時利益	
支出の部	4,661
営業費用	4,511
医業費用	4,351
給与費	1,784
材料費	645
経費	1,088
減価償却費	834
その他医業費用	
一般管理費	160
営業外費用	150
臨時損失	
純利益	▲ 1,292
目的積立金取崩額	
総利益	▲ 1,292

(注 1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

(注 2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

別表 3
資金計画(平成 26 年度)

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金収入	4,263
業務活動による収入	3,363
診療業務による収入	2,686
運営費負担金による収入	664
補助金等収入	3
その他の業務活動による収入	10
投資活動による収入	
運営費負担金による収入	
その他の投資活動による収入	
財務活動による収入	900
長期借入れによる収入	900
その他の財務活動による収入	
前期中期目標の期間よりの繰越金	
資金支出	4,083
業務活動による支出	3,783
給与費支出	1,858
材料費支出	645
その他の業務活動による支出	1,280
投資活動による支出	300
有形固定資産の取得による支出	300
その他の投資活動による支出	
財務活動による支出	
長期借入金の返済による支出	
その他の財務活動による支出	
資金収支差額	180
翌事業年度への繰越金	180

(注 1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

(注 2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

東千葉メディカルセンターの運営状況について

資料 7

1. 救急患者数

単位：人

①救急車搬送		4月		5月		6月		合計	
地区	市町名	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
山武	東金市	42	27.5	52	23.5	50	26.9	144	25.7
	九十九里町	19	12.4	22	10.0	18	9.7	59	10.5
	山武市	34	22.2	47	21.3	41	22.0	122	21.8
	大網白里市	24	15.7	52	23.5	32	17.2	108	19.3
	芝山町	2	1.3	2	0.9	2	1.1	6	1.1
	横芝光町	3	2.0	4	1.8	0	0.0	7	1.3
	小計		124	81.0	179	81.0	143	76.9	446
長生	茂原市	6	3.9	9	4.1	7	3.8	22	3.9
	長南町	3	2.0	1	0.5	0	0.0	4	0.7
	長柄町	1	0.7	2	0.9	0	0.0	3	0.5
	白子町	2	1.3	1	0.5	0	0.0	3	0.5
	一宮町	0	0.0	0	0.0	1	0.5	1	0.2
	長生村	0	0.0	0	0.0	4	2.2	4	0.7
	小計		12	7.8	13	5.9	12	6.5	37
夷隅	いすみ市	0	0.0	0	0.0	1	0.5	1	0.2
匝瑳	匝瑳市	1	0.7	1	0.5	1	0.5	3	0.5
	旭市	1	0.7	0	0.0	1	0.5	2	0.4
印旛	八街市	7	4.6	3	1.4	7	3.8	17	3.0
	成田市	0	0.0	0	0.0	1	0.5	1	0.2
	四街道市	1	0.7	0	0.0	0	0.0	1	0.2
	佐倉市	0	0.0	1	0.5	1	0.5	2	0.4
	富里市	0	0.0	1	0.5	1	0.5	2	0.4
千葉	千葉市	2	1.3	8	3.6	7	3.8	17	3.0
市原	市原市	0	0.0	2	0.9	0	0.0	2	0.4
東葛	松戸市	0	0.0	1	0.5	1	0.5	2	0.4
	市川市	0	0.0	0	0.0	1	0.5	1	0.2
	船橋市	0	0.0	0	0.0	1	0.5	1	0.2
県外	県外	5	3.3	12	5.4	8	4.3	25	4.5
小計		17	11.1	29	13.1	30	16.1	76	13.6
①救急車搬送合計		153	100.0	221	100.0	186	100.0	560	100.0
②ウォークイン (時間外自家用車等来院)		109		164		156		429	
③ドクターヘリ搬送		-		10		6		16	
合計(①+②+③)		262		395		348		1,005	

2. 山武郡市広域行政組合消防本部 救急搬送の状況(平成26年1月~6月)

単位：人

搬送月	軽症			中等症			重症・死亡			合計		
	管内	管外	計									
1月~3月	593	301	894	526	438	964	124	130	254	1,243	869	2,112
搬送率(管内・管外)	66.3%	33.7%		54.6%	45.4%		48.8%	51.2%		58.9%	41.1%	
4月	240	53	293	203	101	304	39	37	76	482	191	673
搬送率(管内・管外)	81.9%	18.1%		66.8%	33.2%		51.3%	48.7%		71.6%	28.4%	
5月	267	65	332	233	88	321	65	25	90	565	178	743
搬送率(管内・管外)	80.4%	19.6%		72.6%	27.4%		72.2%	27.8%		76.0%	24.0%	
6月	252	62	314	210	85	295	49	25	74	511	172	683
搬送率(管内・管外)	80.3%	19.7%		71.2%	28.8%		66.2%	33.8%		74.8%	25.2%	

医療機関別

単位：人

医療機関	1月~3月				4月				5月				6月			
	軽症	中等症	重症・死亡	合計	軽症	中等症	重症・死亡	合計	軽症	中等症	重症・死亡	合計	軽症	中等症	重症・死亡	合計
東千葉メディカルセンター					47	54	24	125	80	75	38	193	68	62	33	163
搬送割合(%)					16.0	17.8	31.6	18.6	24.1	23.4	42.2	26.0	21.7	21.0	44.6	23.9
九十九里病院	182	191	50	423	67	70	7	144	56	68	9	133	63	58	8	129
搬送割合(%)	20.4	19.8	19.7	20.0	22.9	23.0	9.2	21.4	16.9	21.2	10.0	17.9	20.1	19.7	10.8	18.9
さんむ医療センター	135	110	33	278	48	33	3	84	42	31	5	78	44	37	4	85
搬送割合(%)	15.1	11.4	13.0	13.2	16.4	10.9	3.9	12.5	12.7	9.7	5.6	10.5	14.0	12.5	5.4	12.4
大網病院	77	113	15	205	35	26	4	65	32	29	9	70	34	30	3	67
搬送割合(%)	8.6	11.7	5.9	9.7	11.9	8.6	5.3	9.7	9.6	9.0	10.0	9.4	10.8	10.2	4.1	9.8
県立東金病院	49	25	11	85												
搬送割合(%)	5.5	2.6	4.3	4.0												
浅井病院	47	47	8	102	10	11		21	22	16	2	40	12	12	1	25
搬送割合(%)	5.3	4.9	3.1	4.8	3.4	3.6	0.0	3.1	6.6	5.0	2.2	5.4	3.8	4.1	1.4	3.7
その他医療機関	103	40	7	150	33	9	1	43	35	14	2	51	31	11	0	42
搬送割合(%)	11.5	4.1	2.8	7.1	11.3	3.0	1.3	6.4	10.5	4.4	2.2	6.9	9.9	3.7	0.0	6.1
管内医療機関小計	593	526	124	1,243	240	203	39	482	267	233	65	565	252	210	49	511
搬送割合(%)	66.3	54.6	48.8	58.9	81.9	66.8	51.3	71.6	80.4	72.6	72.2	76.0	80.3	71.2	66.2	74.8
管外医療機関	301	438	130	869	53	101	37	191	65	88	25	178	62	85	25	172
搬送割合(%)	33.7	45.4	51.2	41.1	18.1	33.2	48.7	28.4	19.6	27.4	27.8	24.0	19.7	28.8	33.8	25.2
合計	894	964	254	2,112	293	304	76	673	332	321	90	743	314	295	74	683

3. 外来・入院患者数(延人数)

単位：人

診療科	外来		入院	
	4月	5月	4月	5月
内科	23	49	0	0
消化器内科	238	287	149	225
神経内科	52	66	0	0
呼吸器内科	75	137	96	228
循環器内科	158	182	136	199
小児科	99	151	10	39
外科	41	51	55	151
心臓血管外科	8	15	1	14
整形外科	284	450	171	517
脳神経外科	33	71	172	322
産婦人科	7	19	0	0
救急科	172	272	226	518
合計	1,190	1,750	1,016	2,213

4. 入院患者数

単位：人

	一般病床	ICU	HCU	合計
4月(5/1現在)	39	6	8	53
5月(6/1現在)	64	8	9	81
6月(7/1現在)	63	8	10	81